

令和4年度 富士見市生涯学習推進アクションプラン

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防災対策事業（地域防災計画等の周知・啓発）	富士見市地域防災計画やそれに基づいたガイドブック、マニュアル等を周知啓発し、防災知識の向上を図る。	「富士見市地域防災計画」や「富士見市防災ガイドブック」等を周知・啓発し、防災意識の高揚を図る。 継続年数：10年以上 事業予算額：3,808,315円（R2年度予算）	継続年数：10年以上	出前講座や防災リーダー養成講座等の講習会において、富士見市防災ガイドブックの配布を積極的に行い、防災に関する周知・啓発を行った。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	危機管理課					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
本事業と関連のある他計画								
富士見市地域防災計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防災対策事業（防災訓練）	地域・学校・行政が連携した小学校区合同防災訓練を実施し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る。	避難所の運営に携わる機関である、地域・学校・行政がそれぞれ連携協力し、災害時に備えるため、地域の小学校を会場とした宿泊型の防災訓練等を実施する。 対象：市、会場小学校区の町会、学校、消防など 日時：毎年10月ごろに実施 会場：小学校体育館 講師：市職員、消防職員など 参加費：なし 募集人数：100名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：78,000円（R4年度予算）	・南畑小学校区合同防災訓練 日時：令和4年11月26日(土) 会場：南畑小学校体育館 講師：市職員、民間ガス事業者 参加費：なし 参加者数：61名	前年度まで、新型コロナウイルスの影響により中止していたため、久しぶりの開催となった。 コロナ禍における避難所開設の要領について、地域対策本部職員及び町会の参加者に共有することができた。 ※次年度については、富士見市総合防災訓練を実施することにより、本事業の内容を兼ねるものとする。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	危機管理課					B	2 次年度の取組は未定	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
本事業と関連のある他計画								
富士見市地域防災計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防災対策事業（防災リーダー養成講座）	各自主防災組織に防災の知識を習得した富士見防災リーダーを養成し、各地域での防災活動を先導していただく。	市民の方に防災の知識を身に付けていただくための富士見防災リーダー養成講座を開催し、自主防災組織の活動の中核を担う人材を養成する。 対象：各自主防災組織から推薦を受けた方 日時：令和4年7月23日（土）、30日（土） 午前10時～午後4時まで 会場：富士見市立中央図書館・2階視聴覚ホール 講師：鶴瀬西2丁目西町会防災会 笠原敬一氏、彩の国動物愛護推進員ちーむふじみ 児島由枝氏、埼玉県自主防災組織リーダー指導員 菊田高雄氏、一般財団法人 消防科学総合センター 理事 池上三喜子氏 参加費：なし 募集人数：30名程度 継続年数：5～9年 事業予算額：350,000円（R4年度予算）	日時：令和4年7月23日（土）、30日（土） 午前10時～午後4時まで 会場：富士見市立中央図書館・2階視聴覚ホール 講師：危機管理課職員、外部講師4名 参加人数：20名	今まで参加のなかった自主防災組織からの参加があった。 社会情勢にあった講義内容を検討する等、更なる参加を促す工夫をしていきたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	危機管理課					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							
基本目標③	学習成果の活用機会の創出							
本事業と関連のある他計画								
富士見市地域防災計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	コスモス街道づくり	コスモス街道の魅力を通じ、市のPRや地域の活性化を図る。また、サイクリングコース利用者やコスモス鑑賞に訪れた方などとの交流を図る。	健康増進センター付近から新河岸川河川水防センター付近までの川沿いのサイクリングコース脇に、市民団体と協働し、コスモスの育成活動を行う。 対象：コスモスの会☆ふじみ、水谷小学校区まちづくり協議会、一般ボランティア、観光客 日時：5月～11月 会場：富士見江川サイクリングコース、富士見サイクリングコース沿い（富士見江川・寿橋から新河岸川・木染橋まで） 講師：- 参加費：なし 参加人数：100人 継続年数：5～9年 事業予算額：30,000円（コスモスの会☆ふじみへの必要物資の提供）	全体の活動は除草作業4回実施。 杭抜き・杭打ち作業計2回 参加：水谷小学校区まちづくり協議会 ※活動範囲を新河岸川・富士見江川合流地点から木染橋までに変更した。 ※コスモスの会☆ふじみは、会員の高齢化、担い手の不足により、令和4年度に解散し、事業を水谷小学校区まちづくり協議会に継承した。	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む） コロナウイルス感染症に考慮しながら、水谷小学校区まちづくり協議会の会員のみで実施したが、多くの方に参加いただき、市のPRや地域の活性化を図ることができた。今後の活動については、近隣中学生のボランティア参加も検討するなど世代間の交流も含めて検討していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	シティプロモーション課					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					実施手法	2 手法は概ね適切である					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続					
基本目標②	新たな人材の発掘											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
富士見市シティプロモーション戦略												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	富士見市地域活性化研究会					富士見市の観光、産業、文化等の地域資源を活用した、地域の活性化及び魅力の向上を目指す。	様々な市民が集まり、観光事業の振興や富士見市マスコットキャラクターふわっぴーの活用などを通してまちの活性化を図る。 対象：富士見市地域活性化研究会、市民 日時：通年 会場：市内各所 講師：- 参加費：年会費500円 会員数：16人（令和4年度） 継続年数：5～9年 事業予算額：300,000円（補助金）	観光情報アプリ「ココシル☆ふじみ」において、市制施行50周年記念事業「富士見謎解きヒストリーツアー」と連携して市内飲食店などの事業者を紹介する情報発信を行うとともに、富士見お散歩マップの活用により観光・地域活性化を推進した。また、ふわっぴーグッズや市制施行50周年記念エコバッグ、ポロシャツなどの販売を行い、PRに努めた。	「ココシル☆ふじみ」を通じて市内事業者を側面から支援することができた。また、グッズの作成・販売を通じて市制施行50周年を盛り上げる一助となった。会の活動の方向性は、引き続き検討が必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	シティプロモーション課	取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	3 次年度も継続							
基本目標	施策の柱	実施手法	2 手法は概ね適切である									
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	継続性・発展性	3 次年度も継続									
基本目標②	新たな人材の発掘											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
富士見市シティプロモーション戦略												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	防犯対策事業（自主防犯活動リーダー講習会）	市民ひとりひとりの防犯意識を高揚させることにより犯罪機会を減少させ、市内犯罪率の減少を目指す。	地域の自主防犯組織や学校関係者、市民を対象に最新の防犯に関する知識を取得するための講習会を開催し、防犯活動への意識の高揚を図る。 対象：地域の自主防犯組織、学校関係者、市民 日時：未定（8/6開催予定であったが延期） 会場：キラリふじみマルチホール 講師：・東入間警察署 ・宮田 美恵子氏 日本子どもの安全教育総合研究所理事長 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：106,000円	自主防犯活動リーダー研修会 日時 令和4年11月11日 会場 キラリふじみ マルチホール 講師 ・東入間警察署 ・日本子どもの安全教育総合研究所理事長 宮田 美恵子氏 参加費 無料 参加人数 52名	参加者からは高評価で、且つ防犯意識を高揚させることができていたため、今後も継続していく必要がある。ただし、講習内容については研究の余地がある。					個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	協働推進課					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					実施手法	3 実施手法は適切で見直しの必要はない					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続					
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供											
基本目標③	学習成果の活用機会の創出											
本事業と関連のある他計画												
富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	防犯対策事業（地域・青色防犯パトロール活動支援）	地域による自主的な防犯活動を活性化することにより犯罪機会を減少させ、市内犯罪率の減少を目指す。	自主防犯組織に対して防犯パトロール用品の配布や保険加入などの支援を行い、団体が活動しやすい環境づくりを推進する。また、青色防犯パトロールカーによるパトロール実施を促進するため、定期的な青色防犯パトロール講習会の開催や、パトロールカーの運行管理を行い、多彩な自主防犯活動の実施を支援する。 対象：地域の自主防犯組織 日時：随時（青色防犯パトロール講習会は11/8開催） 会場：中央図書館視聴覚室(青色防犯パトロール講習会) 講師：東入間警察署(青色防犯パトロール講習会) 参加費：無料 募集人数：- 継続年数：10年以上 事業予算額：856,000円	青色防犯パトロール講習会 日時 令和5年3月25日 会場 中央図書館 視聴覚ホール 講師 東入間警察署 参加費 無料 参加人数 17名	コロナの影響もあって、活動が縮小していた青色防犯パトロールカーの運行も元に戻りつつある中、新規の隊員の確保に必要な講習会を開催することができた。今後も継続して講習会を実施し、隊員の確保に努める。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	協働推進課					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	地域まちづくり協議会	地域まちづくり協議会の計画する、地域の主体性及び創意工夫により地域の特性を活かした個性的かつ魅力的なまちづくりの推進を支援する。 協議会の未設置地域には設立に向けた支援を行う。	対象：地域まちづくり協議会 補助額：年50万円以内 継続年数：8年 事業予算額：3,000,000円	地域まちづくり協議会活動助成金 補助額 1団体あたり、年50万円以内 継続年数 8年 事業決算額 1,878,708円	各まちづくり協議会においては、コロナの影響で止まっていた、事業計画に基づく活動を再開することができ、地域の特性を活かしたまちづくりが進められた。今後は、未設置地域における課題の発掘と、設立に向けた支援を行う。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	協働推進課					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第6次基本構想・第1期基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民参加・協働推進事業	市民の豊かな創造性や社会経験がまちづくりに活かされるよう、多様な市民参加と協働を基調としたまちづくりを推進する。	・市政への市民参加や協働によるまちづくりの推進について、調査・検討（市民参加及び協働推進委員会・市民参加及び協働推進庁内委員会） ・市民参加及び協働推進に関する全庁的な取組状況調査の実施 ・市内NPO法人の情報提供 ・富士見市コミュニティ協議会への補助金交付 ・協働事業提案制度での事業募集 ・ミニ鉄道運転会の実施 ・市民活動保険による補償 ・AEDの貸出	市民参加及び協働推進委員会の開催数 6回 市民参加及び協働推進庁内委員会の開催数 6回 市民参加及び協働推進に関する全庁的な調査の実施 NPO団体に対する助成金情報の周知 69件 富士見市コミュニティ協議会に対する補助 交付額：64,000円 協働事業提案制度による採択事業2事業 ミニ鉄道運転会の実施 13回 市民活動保険による補償 1件 AEDの貸出回数 12回	本市の市民参加や協働によるまちづくりの基本となる自治基本条例について、市民参加及び協働推進委員会や庁内委員会で見直し協議をする等、市民の意見を取り入れながら運用している。また、経年的に市民参加及び協働による事業の実施状況や審議会等における公募委員等の状況等の調査を継続している。その他、コミュニティ推進団体への補助、地域課題解決に向けて市民提案の事業の採択や市民のノウハウを活かしたミニ鉄道運転会の開催を行うとともに、市民活動に対する支援を講じている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	協働推進課					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法		
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画								
第6次基本構想・第1期基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	ふるさと祭り推進事業	市内の各種団体が組織された実行委員会が「富士見ふるさと祭り」を開催し、市民参加型の企画を取り入れながら、市内の農業、商工業などの地場産業の振興や活性化、市民の環境問題に関する意識の向上と郷土意識の醸成を図る。	対象：一般市民 日時：令和4年10月22日（土） 会場：富士見市役所周辺 講師：一般市民 参加費：無料 募集人数：なし 継続年数：10年以上 事業予算額：約13,000,000円	対象：一般市民 日時：令和4年10月22日（土） 会場：富士見市役所周辺 参加費：無料 参加人数：のべ36,000人 継続年数：10年以上 事業決算額：11,291,782円	コロナ禍での開催であったが、予想以上の盛り上がりを見せていた。5年度は通常開催に向けた活動と、予算との兼ね合いが課題となる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	協働推進課					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						-					
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	出前講座	まちづくりの主体である市民が持つ市政に関する情報を知る権利を保障するため、まちづくりに関する情報及び学習の機会の提供に努める。	市内在住在勤在学の個人やグループに対し、市職員を講師として派遣し、市政の説明やテーマに関する講座を開催。 講座メニュー数：89講座（リクエスト講座含む） 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	講座開催数 32回 利用者数 1,535人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった講座があったが、「開催基準チェックリスト」を基にコロナ対策を行い、昨年と比べ多くの講座を開催することができた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	協働推進課					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						第6次基本構想・第1期基本計画					
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	国際交流フォーラム	多文化共生の地域づくりを目的として、外国籍市民との交流企画、国際交流関係展示、体験と交流のコーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を作り、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図る。	対象：子ども、一般 日時：10月1日（土） 会場：キラリ☆ふじみ 参加費：無料 継続年数：20年以上 事業予算額：80,000円（謝礼生涯学習課分）、100,000円（謝礼文化・スポーツ振興課分）	実施日：令和4年10月1日 ※本年度は新型コロナウイルス感染症対策を実施する中での開催。 ・「やさしい日本語」の講演会 ・外国籍市民のスピーチ ・弦楽四重奏による世界の音楽コンサート ・国際交流、多文化共生団体に等による活動状況の展示 会場：キラリ☆ふじみ 参加人数：一般の方140名 事業決算額：	新型コロナウイルス感染症対策を加味した中で実施できる内容とし、入場者数も制限した中での実施であった。 内容もコロナ禍以前とは大きく異なるものとなったが、参加者アンケートでは概ね好評であった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	文化・スポーツ振興課、生涯学習課					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						富士見市第6次基本構想第1期基本計画					

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	富士見市民文化祭	市民の文化創造活動を推進し、相互の文化交流を図るため、市内で活動する文化団体が組織された実行委員会が主催する全市民的な文化祭を実施する。	市民文化会館キラリふじみを会場に、市内の文化4団体を中心に芸能・音楽発表、各種作品展示及び将棋大会を約2週間にわたって行う。 対象：市民 日時：10/30～11/13 会場：キラリふじみ 講師： 参加費：一部あり 募集人数： 継続年数：10年以上 事業予算額：800,000円	実施日：令和4年10月30日～11月13日 ・民謡大会 ・将棋大会 ・芸能発表 ・展示発表 ・市民音楽祭 ・市民美術展 会場：キラリ☆ふじみ 参加人数：出展・出演者784名 来場者2,866名 事業決算額：710,739円	新型コロナウイルス感染症の影響による中断のため3年ぶりの開催となった。市民に鑑賞機会・発表機会や交流機会を提供する取組として、引き続き継続する。 参加する各団体から、参加者の固定化・高齢化等が課題であるとの意見があるため、実行委員会で実施方法の改善等を検討したい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	文化・スポーツ振興課					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標③	市民間交流の促進							継続性・発展性	3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
富士見市文化芸術振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	消費生活講座	市民の消費に関する相談や苦情に対する調査、助言、解決に向けたあっせん等を行い、消費者の正当な利益の擁護・増進を図る。また消費者被害の防止に向けた啓発活動を行う。	対象：子ども、市民、高齢者 日時：随時開催（申込制） 講師：富士見市消費生活相談員 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額 ○講師謝礼（講師派遣の場合） 14,000円 ○事業協力者謝礼（南畑お月見一座） 100,000円	【消費生活講座】 日時：7月7日（木） 会場：水谷東公民館 講師：浦井消費生活相談員 参加人数：28人 事業決算額：0円 日時：7月9日（土） 会場：ふじみ野交流センター 講師：神谷消費生活相談員 参加人数：34人 事業決算額：0円 日時：7月14日（木） 会場：ふじみ野交流センター 講師：浦井消費生活相談員 参加人数：27人 事業決算額：0円 日時：10月5日（水） 会場：市民福祉活動センターばれっと 講師：神谷消費生活相談員 参加人数：23人	実際に起きているトラブルの事例などを、わかりやすく学ぶことができたと思う。 今後も被害を未然に防ぐため、新たな事例や起こりうる事例などの情報を伝えていきたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	人権・市民相談課					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供							継続性・発展性	3 次年度も継続			
基本目標③	学習成果の活用機会の創出											
本事業と関連のある他計画												
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	男女共同参画事業	性別にかかわらず、誰もがその個性と能力を發揮し、互いに対等なパートナーとしてあらゆる分野に参画し、ともに責任を担う男女共同参画社会の実現のための講演会・セミナー等を実施する。	対象：市民 日時：8～2月(3回開催予定) 会場：市内公共施設 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：260,000円	男女共同参画セミナー① 日時：令和4年11月27日（日） 会場：ふじみ野交流センター 講師：神谷悠一氏（LGBT法連合会事務局長） 参加人数：28人 事業決算額：30,000円 男女共同参画セミナー② 日時：令和5年3月4日（土） 会場：ピアザ☆ふじみ 講師：太田啓子氏（弁護士） 参加人数：35人 事業決算額：30,000円 ※講演会は感染症拡大防止の為中止	講演会はコロナウイルス感染症拡大防止のため行わなかった。 セミナーを2回実施し、男女共同参画について考える学習の機会を提供することができた。 次年度以降も継続して行う。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	人権・市民相談課					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
								継続性・発展性	3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
富士見市第6次基本構想・第1期基本計画												
富士見市男女共同参画プラン（第4次）令和3年4月策定												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	広報紙の発行・情報コーナーの充実	広報紙やホームページ等で情報発信をするとともに、サークル・団体情報の収集提供を図る。	「ふじみ野エクスプレス」月1回（2・8月除く）発行。A4判両面刷り。鶴瀬公民館だよりに挟込み。事業予算額：687,000円	年10回発行 19,500部/回 事業決算額：692,765円	地域に向けた情報紙として発行。生涯学習事業の案内や施設情報を提供することができた。特集テーマを早めに決め、計画的に編集に当たりたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	ふじみ野交流センター					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	学習環境の整備							
本事業と関連のある他計画								
なし								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子育て支援事業	乳幼児親子の日常的な学習、交流の場づくりを、保育園・図書館の併設機能を活かし事業展開を図る。	ふじみ野保育園子育て支援センター「にこにこひろば」への会場提供やイベントの開催。 クリスマス会 対象：乳幼児親子 時期：12月中旬 会場：ふじみ野交流センター 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：図書館ふじみ野分館	日時:12月23日 午前10時30分～11時30分 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：57人	コロナ禍にありながらも地域の親子に、クリスマスイベントを楽しんでもらうことができた。引き続き複合施設の利点を相互に活かしながら、事業を実施していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	ふじみ野交流センター					A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
子ども読書活動推進計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	青少年対象事業	地域の子どもたちに遊びの機会を提供するとともに多世代間の交流を図る。	小学生を対象にした体験学習を主に学校の夏休み期間中に行う。 対象：小学生 時期：7月下旬から8月中旬 会場：ふじみ野交流センター 参加費：材料実費負担 募集人数：各回10～20名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：70,000円 指導者：利用団体等	「勝瀬の七夕まつり」 日時：8月3日～7日 会場：ふじみ野交流センター 講師：勝瀬昔承会、地域活動栄養士PFCの会、富士見ボードゲーム研究会、講師・神田伊織 内容：キッズキッチン、ボードゲーム体験、講談 参加人数：47人 事業決算額：55,000円	家庭で行うことが少なくなった行事の体験や地域の伝統文化に触れてもらう良い機会となった。ギャラリーに設置した大きな笹飾りには、例年にも増して多くの短冊が飾られた。 夏休み期間中であつたが、予想していたよりも参加者が少なかった。興味を引く取り組みを検討する必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	ふじみ野交流センター					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進							
本事業と関連のある他計画								
健康増進計画・食育推進計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	成人対象事業（生活文化講座）	生涯学習への参加につながる各種講座を開催する。	生活文化講座 趣味・教養等の講座を開催 対象：一般 時期：6月、10月、11月 会場：ふじみ野交流センター 参加費：材料等実費負担 募集人数：各講座10～50名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：90,000円 講師：市民講師を含め幅広い人材を起用	「切り絵体験講座」 日時：11月11日、20日 午前10時～11時30分 会場：ふじみ野交流センター 講師：愛幸庵 部田宗司氏 参加人数：延べ15人 事業決算額：10,000円	昨年に引き続き実施。講師の細やかな指導の下、初めての参加でも時間内に見事な作品を仕上げる事ができた。また、参加者同士の交流も図れ、講座終了後サークルの立ち上げにつながった。 複数の講座を予定していたが、実施できなかった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標③	市民間交流の促進										
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進										
本事業と関連のある他計画											
なし											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	地域交流事業（ふじみ野じゅく）	定期的な学習・交流の場を通して地域住民の生涯学習と相互交流を促進する。	「ふじみ野じゅく」の開催 内容:介護、健康、社会問題、文学等の講座を開催 対象：一般 時期：4月～3月、月1回第3金曜日午前中 会場：ふじみ野交流センター 参加費：無料（一部材料費等あり） 募集人数：各回40名程度 継続年数：10年以上 事業予算額86,000円	日時：4月～3月、月1回第3金曜日午前10時～12時 会場：ふじみ野交流センター 講師：富士見市職員ほか 参加人数：延べ219人 事業決算額：83,000円	コロナ禍にありながらも、毎回多数の参加があり、学習意欲の高さがうかがえた。 新しい参加者が増えたことで新たな要望が見られるようになったので、今後の企画、運営に活かしていく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標③	市民間交流の促進										
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進										
本事業と関連のある他計画											
なし											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	地域交流事業（地域の伝統行事体験）	勝瀬地域に伝わる伝統行事を学び、体験することで地域に対する理解・親しみを深める。	勝瀬の七夕まつり他、地域の伝統行事の体験。 対象：一般 時期：勝瀬の七夕まつり8月、十五夜10月、お正月飾り12月、門松1月、小正月2月、各月1週間程度の展示を行う。 会場：ふじみ野交流センター 参加費：無料（お正月飾りは材料費等あり） 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：47,000円 協力者：勝瀬昔承会	七夕飾り 8月3日～7日、十五夜9月7日～10日、十三夜10月5日～8日、門松飾り設置12月27日～1月7日、小正月まゆ玉展示 2月10日～15日 会場：ふじみ野交流センター 事業協力者：勝瀬昔承会 お正月飾り製作 ①リースアレンジ 日時：12月21日午前10時～12時 講師：加納かおる氏 ②わら飾り 日時：12月27日午後1時～3時 講師：勝瀬昔承会 参加人数：延べ13人 事業予算額：55,000円	家庭で行うことが少なくなった行事の体験や地域の伝統文化にふれる良い機会となった。 地域の方の協力なくしては成り立たない。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	ふじみ野交流センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標③	市民間交流の促進										
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進										
本事業と関連のある他計画											
文化芸術アクションプラン											
男女共同参画プラン											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民協働イベント開催事業（勝瀬de縁日）	地域住民の世代を超えた交流の場として地域団体主催による「まつり」を開催する。	勝瀬de縁日 対象：子ども、一般 時期：9月3日 会場：ふじみ野交流センター 参加費：模擬店等一部実費 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：95,000円 主催団体：勝瀬de縁日実行委員会	日時：9月3日 午前12時～午後3時 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：477人 内容：子ども、親子連れを対象にした遊びの体験と交流、菓子等の販売、笑顔の写真展示、勝瀬deグルメ参加15店舗の「おいしいもの」展示、ふじみ野小の絵画展示、縁日開会前に「開館20周年記念式典」を実施 事業決算額：29,508円	新型コロナウイルス感染症によりイベントの開催が制限される中、感染防止対策を十分に施し3年ぶりの開催となったが、予想を上回る参加があり、地域住民のイベント交流が図れた。 勝瀬de縁日の2年間の中止により、実行委員会との協議が十分にとれず、事務局主導になってしまった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	ふじみ野交流センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	市民との協働による事業の充実													
本事業と関連のある他計画														
男女共同参画プラン														
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民協働イベント開催事業（ふじみ野文化祭）	利用者及び地域住民の生涯学習活動における日頃の成果を発表する機会の提供、相互交流を目的として開催する。	ふじみ野文化祭 対象：一般 時期：3月4日、5日 会場：ふじみ野交流センター 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 主催団体：ふじみ野文化祭実行委員会	日時：3月4日、5日 午前10時～午後4時 会場：ふじみ野交流センター 参加人数：1,000人 事業決算額：0円 主催：第21回ふじみ野文化祭実行委員会	4年ぶりに、作品展示と舞台発表を同日に開催、参加団体も前年に比べ増え、コロナ前の賑わいを取り戻しつつあった。また、本年度は新たな取り組みとして、図書館と共催で「ビデオで振り返る富士見市勝瀬」を上映し、日ごろ交流センターを利用していない方にも足を運んでもらうことができた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	ふじみ野交流センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標③	学習成果の発表機会の充実													
基本目標①	市民との協働による事業の充実													
本事業と関連のある他計画														
文化芸術アクションプラン														
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	成人対象事業シリーズいい友	音楽やダンス、食など世代を超えて愛されるエンターテインメントを通して、地域の世代間交流や文化振興を図ってゆく。	①音楽でいい友 様々なジャンルのコンサート 対象：一般 時期：5月、10月、12月 参加費：無料 募集人数：各50名 ②食べていい友 様々な食材、料理を学ぶ。 実施時期：5月、10月、11月、12月 参加費：材料費 募集人数：10名 ③踊っていい友 オリジナルのダンスを創作し、種々のイベントで披露する市民参加型のパフォーマンス。令和4年度実施。 ①②③演奏者や講師はプロ、アマを問わず市民を起用する。	①音楽でいい友（コンサート） 5月15日ジャズボサノバ、10月29日ジャズ、12月5日音楽の夕べ、12月11日クラシック 参加人数：延べ186人 ②食べていい友（食文化講座） 5月24日春～初夏の野菜のひみつ、10月6日太巻き祭り寿司、11月12日フランス料理、11月15日免疫力を備蓄 by 秋野菜、12月17日イタリア料理 参加人数：延べ47人 会場：ふじみ野交流センター	コロナ禍にありながらも、どの事業も募集を上回る応募があり、好評を得た。③は実施できなかった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	ふじみ野交流センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>3 十分な成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	3 十分な成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	A	3 次年度も継続
取組成果														
3 十分な成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	市民との協働による事業の充実													
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供													
基本目標③	市民間交流の促進													
本事業と関連のある他計画														
文化芸術アクションプラン														
男女共同参画プラン														

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	親子おもつき交流会	地域づくりに若年の保護者に参加してもらうために、親子参加型の講座を実施し、保護者の出番づくりと仲間づくりのきっかけとする。	保護者と子どもが共同作業をすることにより親子のコミュニケーションが図られるほか、保護者同士の仲間作りの場として実施。 対象：鶴瀬西地域の親子 日時：通常12月下旬（コロナウイルス感染拡大対策のため中止） 会場：西交流センター駐車場、調理室、会議室 講師： 参加費：時価 募集人数： 継続年数： 10年以上 事業予算額： 10,000 円	新型コロナウイルス感染の影響で中止	協力してもらっている団体の高齢化により令和5年度以降は未定。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施	2 次年度の取組は未定
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
基本目標③	市民間交流の促進							
本事業と関連のある他計画						なし		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	回想法講座	地域課題学習として、認知症予防、介護予防等に効果があると注目されている「回想法」の実践の場として「回想法継続会」が主体となり「唄とおはなしのサロン」を実施。 地域の高齢化が進む中、「回想法継続会」のメンバーのスキルアップと新たなメンバーの発掘することを目的に講座を開催する。	地域課題学習として認知症予防、介護予防等に効果があると注目されている「回想法」の実践講座を実施。 対象：富士見市内で「回想法」に興味がある方。 日時：3月頃（10月24日から2月末まで空調及び電気工事のため休館となるため、またコロナウイルス感染拡大対策のため現在未定。） 会場：鶴瀬西交流センター講座室予定 講師：未定 参加費：無料 募集人数：未定 継続年数： 10 年	新型コロナウイルス感染の影響で中止	地域住民の高齢化が進む中、孤立を防ぐ一つの手法として「唄とおはなしのサロン」など実践し、高齢者のコミュニケーションの場として提供し回想法により脳の活性化に役立てるため継続する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						なし		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	高齢者ひろば	サークル活動より緩やかな高齢者のためのひろばを設定し好きなスケッチを通して居場所づくりと高齢者同士の交流を深める機会とする。	高齢者の生きがいづくり、地域の居場所づくりとして交流を深める機会としている。毎月1回実施。 対象：西地域の高齢者 日時：毎月第3火曜日の午後 会場：市民活動室 講師：なし 参加費：無料 募集人数：制限なし 継続年数： 10年以上 事業予算額： 0 円	月に一回スケッチを基本に高齢者のコミュニケーションの場としてきたが、新型コロナウイルスの影響で参加者が減少。開催時もひとりか二人の参加状態になっている。	高齢者の間ではまだまだコロナの影響を心配する方が多く、もうしばらくは様子を見る。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	2 一定の成果を挙げている	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画						なし		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	子ども広場	子ども自らが地域の中で自分の居場所を見つけるための応援体制とサークルや地域の大人たちの協力体制を作り出していくことを目的に実施している。 長期休業の夏休み・冬休みの時期に「子どもひろば」を開催し、豊かな体験活動を提供する。	夏休み子ども広場：いけ花体験教室、陶芸体験教室、篆刻体験教室。冬休み子ども教室：新春子ども書初め教室。 対象：鶴瀬西地域の小学生等 日時：通常夏休み・冬休み期間（10月24日から2月末まで空調及び電気工事のため休館となり冬休みは中止） 会場：鶴瀬西交流センター美術工芸室等 講師：鶴瀬西交流センター利用サークル及び団体 参加費：実費 募集人数：未定 継続年数：10年以上 事業予算額：35,000円	新型コロナウイルス感染対策を行いながら、生け花教室と陶芸教室を実施。 対象：鶴瀬西地域の小学生等。 日時：夏休み 会場：鶴瀬西交流センター 講師：西交流センター利用サークル 参加費：実費 参加人数：陶芸教室24人、いけばな教室9人 継続年数：10年以上 事業決算額：15000円	協力団体が高齢者が多いためコロナ感染予防のため講師を辞退するサークルがあり、2教室の実施となった。参加希望はあるため次年度以降も実施予定。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					実施手法						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画						なし						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	水曜学級					鶴瀬西地域（上沢3丁目町会、関沢2～3丁目町会等含む）に在住する満60歳以上の方を対象に、生涯学習講座やサークル活動などを通じて、親睦を深め心身ともに健康で生きがいのある充実した生活を送ることを目的とする。	「水曜学級（高齢者学級）」の開催（10月24日から2月末まで空調及び電気工事のため休館となるので5月から10月までの開催） 日時：毎年5月頃から3月頃まで（5月から10月まで） 会場：鶴瀬西交流センター 参加費：1,500円（令和4年度は1,000円） 全体会1回目：5月開講式、アトラクション 全体会2回目～5回目：6月健康講座、7月音楽鑑賞、9月終活講座、10月音楽鑑賞を開催 全体会：毎月第2水曜日 サークル活動1サークル（R4年度） パソコン、パワーアップ体操、レクダンス、コーラス、健康体操、絵画、書道硬筆、いけばな、脳トレ麻雀、折り紙、卓球 継続年数：10年以上	「水曜学級（高齢者学級）」の開催（10月24日から2月末まで空調及び電気工事のため休館となるので5月から10月までの開催） 日時：毎年5月頃から3月頃まで（5月から10月まで） 会場：鶴瀬西交流センター 参加費：1,500円（令和4年度は1,000円） 全体会1回目：5月開講式、アトラクション 全体会2回目～5回目：6月健康講座、7月音楽鑑賞、9月終活講座、10月音楽鑑賞を開催 全体会：毎月第2水曜日 サークル活動1サークル（R4年度）	学級生の高齢化が課題。60代の参加者が0名になった。新規参加者が減少傾向。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター	取組成果	B	3 次年度も継続								
基本目標	施策の柱	実施手法										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	継続性・発展性										
本事業と関連のある他計画		なし										
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	鶴瀬西交流センターフェスティバル	鶴瀬西交流センター利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指して開催する。	利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 日時：10月1日（土）～2日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 講師： 参加費：1団体500円 募集人数： 継続年数：10年以上 事業予算額：40,000円	利用者及び地域住民の交流と文化の向上、コミュニティ活動の促進を目指す。 対象：鶴瀬西交流センター利用サークル・団体及び鶴瀬西地域住民 日時：10月1日（土）2日（日） 会場：鶴瀬西交流センター 講師： 参加費：1団体500円 参加団体：35団体	新型コロナウイルスの影響で作品不足等で参加団体が減少。また、サークルの会員も高齢化にあり減少傾向。次年度も実施する。					個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					実施手法						
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画						なし						

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	フリースペース西っ子	乳幼児を持つ親の子育て情報交換や育児のことを身近で気軽に相談できる場としてプレイルームにて開催する。	毎月第4木曜日午前10時から正午、民生委員が見守り、子育ての相談相手をしてください。保健師・栄養士・歯科衛生士・保育士が毎月交互に入り、個別の相談に応じアドバイスを保護者に行います。 対象：プレイルーム利用している乳幼児の親 日時：毎月第4木曜日 会場：鶴瀬西交流センタープレイルーム 講師：保育士、歯科衛生士、栄養士、保健師 参加費：無料 募集人数：制限なし 継続年数：10年以上 事業予算額：45,000 円	新型コロナウイルスの影響で中止。	実施会場のびっぴの広場の入場制限があり、制限解除になり次第再開予定。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	未実施	2 次年度の取組は未定
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
						2 次年度の取組は未定		
本事業と関連のある他計画						なし		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	つるせ西だよりの発行	鶴瀬西地域の生活・文化等に係る情報を伝える広報紙として、年10回発行し、広報富士見と一緒に配布する。	「つるせ西だよりの発行 編集会議：月2回（原則第1、3金曜日） 編集委員：市民10名前後、任期2年 発行部数：10,200部、年10回（7・8月、1・2月は合併号） 発行形態：A3版、両面見開き 継続年数：10年以上 事業予算額：409,000 円	「つるせ西だよりの発行 編集会議：月2回（原則第1、3金曜日） 編集委員：市民10名前後、任期2年 発行部数：10,200部、年10回（7・8月、1・2月は合併号） 発行形態：A3版、両面見開き 継続年数：10年以上 事業決算額：370,260 円	編集委員の高齢化が課題。新規編集委員の候補者が見つからない。西だよりの内容は地域市民から好評のため今後も継続。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬西交流センター					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						なし		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	児童館運営事業	関沢児童館、諏訪児童館及びふじみ野児童館を拠点として、子どもたちや子育て中の保護者に対する各種事業を実施することにより、児童の健全育成及び子育て支援の充実を図る。	関沢児童館、諏訪児童館及びふじみ野児童館それぞれの特色を生かし、地域に密着した事業や3館連携事業を行うほか、夜間開館による中高生の居場所づくりを行う。 継続年数：10年以上 予算：61,031千円（指定管理料）	※R5年1月末現在の集計人数です 【来館者数】 関沢：6,509人 諏訪：11,952人 ふじみ野：11,858人 【あそびの学校】 124回実施、1,811人参加 【サークル支援】 20回実施、243人参加 【夜間開館】 関沢：9回実施、9人 ふじみ野：10回実施、25人	地域における子育て支援の拠点施設として、乳幼児から中高生まで様々な事業を実施しており、安心して遊べる居場所として定着している。また、利用者アンケートでは利用者からの満足度が高い。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	保育課					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						子ども・子育て支援事業計画		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	「びっぴ」のひろば	ひろばでの遊びや製作など、同年代の子どもと親の交流の場を提供する。また、子育てに関する相談をうけたり情報提供を行い、親子の成長を支援する。	対象:未就学児と保護者 日時:年間を通して実施 場所:プレイルーム 参加費:無料 予算:0円 継続年数：10年以上	実施期間：4月～3月 対象：未就学児と保護者 参加人数：親子合計6,534人（2月末現在） 場所：プレイルーム（鶴瀬西交流センター内） 鶴瀬西名シ久保集会所、関沢集会所	鶴瀬西交流センターが工事中は、集会所でひろばを実施したが、新たな利用親子もあり、子育て支援センターを知ってもらい良い機会ともなった。ひろばでは、育児に不安を抱える保護者もいて、保育士の立場からアドバイス・助言・声掛けを行い、子育て中の保護者を支援した。育児に悩みながらも家にもってこよう親子への対応が	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
						2 手法は概ね適切である		
本事業と関連のある他計画						第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画		

			にしろつてしまふ税目への対応が 今後の課題。	3 次年度も継続	
--	--	--	---------------------------	----------	--

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	小さな子どものためのコンサート	生の演奏に触れ、親子で楽しい時間を共有し、学習の機会とする。	対象:未就学児と保護者 日時:10月13日 会場:キラリ☆ふじみ 参加費:親子で300円 予算:126,000円 継続年数:10年以上	開催日:10月13日 主演者:東邦音楽大学 対象:未就学児と保護者 参加人数:親子合計226人 会場:キラリ☆ふじみ 事業決算額:112,287円	コロナ感染対応を取りつつ、3年ぶりに開催できた。指定席とすることで、チケットの販売や入場の方法など検討を重ね、混乱もなく行うことができた。小さな子どもも集中して聞ける時間と内容で、親子で楽しめたという感想が多くあった。ボランティアや淑徳大学学生の協力も大きく、今後はスタッフの人員確保が課題となる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
						2 手法は概ね適切である					
本事業と関連のある他計画									継続性・発展性		
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画									3 次年度も継続		
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	人形劇	人形劇を親子で楽しみ、相手を思いやる心や生きる喜びなどを育む機会とする。	対象:未就学児と保護者 日時:5月18日 会場:鶴瀬西交流センター 委託団体:未定 参加費:無料 継続年数:10年以上 予算:10,000円	開催日:5月18日 出演者:人形劇「あゆ」 対象:未就学児と保護者 参加人数:親子合計45人 会場:鶴瀬西交流センター 事業決算額:10,000円	多目的ホールで大掛かりな舞台を組んでの人形劇を実施。小さな子どももわかりやすい内容だったこともあり、初めて人形劇をみた子どもも夢中で見られたと、参加者に好評だった。予算内で出演をお願いできる団体を探すのが困難だが、人形劇は「子育て講座」の1つであり、今後も行っていく予定。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
						2 手法は概ね適切である					
本事業と関連のある他計画									継続性・発展性		
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画									3 次年度も継続		

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	子育て講座	保護者向けに、子育てに役立つような講座を開き、学習機会の充実を図る。	対象:未就学児と保護者 時期:4月、7月、9月 他 会場:鶴瀬西交流センター 他 参加費:無料 継続年数:10年以上 予算:15,000円	①ベビーヨガ ②3B体操 日時と参加者:①4月13日15人、9月14日14人 ②7月15日23人 (いづれも親子合計人数) 講師:①谷脇昭子氏 ②熊木広美氏 対象:①首が座った歩く前の乳児と保護者 ②1歳半以上で歩ける未就学児と保護者 会場:①②鶴瀬西交流センター 事務決算額:①10,000円②5,000円	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む） ①ベビーヨガは、昨年も行い参加者に好評だった。後半は、ママの体と心をほぐすようなヨガを教えてもらい、日々忙しい育児を頑張っているママ達からは、楽しかった、また参加したいという意見が多く寄せられた。 ②3B体操については、鶴瀬西交流センターで活動しているサークルの講師を招き、道具を使ったストレッチや遊びを行った。3B体操が初めてという親子がほとんどで、おもしろかった、親子で楽しかったとの感想が多かった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	子ども未来応援センター					取組成果	A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性			
						3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画									
第二期富士見市子ども・子育て支援事業計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	避難行動要支援者支援事業	災害時自力避難が困難な高齢者、障がい者等（登録者）の支援内容を市・町会・民生委員等で共有し、地域における助け合いを推進していく。	平常時より要支援者情報を関係機関・民生委員・町会等が共有し、迅速に安否確認及び避難行動要支援等を行える体制を市民と協働で取り組み、地域ごとに整備する。 継続年数:5~10年 事業予算額:157,000円	1. 避難行動要支援者支援事業登録者の登録内容の更新作業（町会、民生委員へ協力依頼）：令和4年12月~令和5年1月 2. 登録者リストの更新作業（事務局） 3. 更新済みリストの配布（町会、民生委員）：令和5年4月	台風などの自然災害時、災害弱者の方たちへの一つの不安解消材料として、評価できる事業となっている。一方で、要支援者を支える支援者の高齢化や、支援者を探すこと自体が困難になっているなど課題は多く、見直しが必要となっている。また、関係各課の連携の必要性も出てきている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	福祉政策課					取組成果	C	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			1 見直しが必要である
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性			
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画									
地域福祉計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	ふじみ福祉フォーラム21	誰もが安心して暮らせる地域社会が実現できるよう、市民自らが福祉の理解と社会参加を促進していくこと。	市民参加による地域福祉活動の振興を図るため、ふじみ福祉フォーラム21実行委員会に対し、活動費を補助する。 継続年数:10年以上 事業予算額:392,000円 日時:令和5年1月28日(土) 会場:キラリふじみ	1. 実施日:令和5年1月28日(土) 2. 会場:キラリふじみ 3. 講師:三間瞳氏(映画プロデューサー) 4. 内容:障がいや疾患・難病などがある人の兄弟姉妹を「きょうだい」と言いますが、このことをテーマ(きょうだいの生き方)とした映画「ふたり」を上映し、この映画のプロデューサーの講演を実施 5. 参加人数:205名 6. ふじみ福祉フォーラム21実行委員会へ補助金交付	コロナ禍の影響で一昨年度が中止、昨年度が無観客での実施であったため、久しぶりの有観客開催でどれくらい集客できるか心配であったが、205名の来場者があった。映画(内容は左記のとおり)上映と製作者の講演、その後の意見交換会という内容が来場者の興味を引いたものと思われ、心配を打ち消した盛況ぶりであった。今後も、身近な福祉の内容を扱えると良いと考える。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	福祉政策課					取組成果	B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性			
						3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画									
地域福祉計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価							
事業名	生活支援体制整備事業	生活支援サービスの充実を図るとともに地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。	地域のちょっとした困りごとは地域で解決できる体制づくりを目指す。日常生活圏域（第2層）ごとの特性を活かしつつ、地域のニーズに合わせた生活支援サービスや居場所づくりの創出に向けて、生活支援コーディネーターが伴走型支援をしながら、地域の方々や関係者とともに地域について考え検討・議論できるよう取り組んでいく。 継続年数： 5～9年 事業予算額： 11,476,000円	◎第2層の取組み（集計中） ◎「地域つながる おとなりフェス」の開催 ※令和5年2月22日実施（Zoom及び会場参加のハイブリット開催）参加者数 28人 ※動画配信（令和5年3月末まで）や、当日の講演内容等の開催報告を掲載した広報誌も今後発行予定	地域ごとの実情に合った事業を展開できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら日常生活圏域（第2層）における取組みを工夫してすすめた。引続き、次年度も地域の課題やニーズを把握し、地域を知り学びながら地域ごとに検討・議論ができるような取組みを実施できるように努めていく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性					
担当課	高齢者福祉課					B	3 次年度も継続						
基本目標	施策の柱												
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実												
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供												
基本目標③	学習成果の活用機会の創出												
本事業と関連のある他計画													
第8期富士見市高齢者保健福祉計画													
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価							
事業名	富士見市コミュニティ大学活動支援	高齢者が自主的に行うコミュニティ大学の活動を支援する。	高齢者の生涯学習として、親睦交流や生きがいつくり、地域貢献を目的に自主運営している、富士見市コミュニティ大学の活動の場の提供等支援する。 継続年数： 10年以上 事業予算額： -円	当初、4月からの事業実施に向けて相談を受けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開校が9月に延期となった。9月からの開校であったが、3年振りということもあり、その日を待ち望んでいた生徒約100人の学びの場となった。	令和4年度は当初4月からの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、9月からの開校となった。半年開校が遅れたが、高齢者の学びの場として、活動に対する意欲は強いと見られ、今後も引き続き自主運営しているコミュニティ大学の活動を支援していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性					
担当課	高齢者福祉課					B	3 次年度も継続						
基本目標	施策の柱												
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実												
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進												
本事業と関連のある他計画													
第8期富士見市高齢者保健福祉計画													
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価							
事業名	一般介護予防事業（集中型介護予防教室）	介護予防教室や相談を通し、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、健康づくりや仲間づくり、自主グループ活動をすすめ、高齢者の活動性の向上や社会参加を促進する。	対象：高齢者 期間：6か月 会場：健康増進センター 募集人数：1コースあたり15名 内容：虚弱層向けに、運動や口腔、栄養など複合的なプログラムを実施し、心身機能の維持向上を図る。 継続年数：10年以上 事業予算額：3613千円	回数：74回 参加延べ人数：1,172人 事業決算額：3,353千円	広報を見た方や修了生からの口コミで参加者が増加した。修了後に新しく自主グループを立ち上げることができた。また、要支援認定を継続することなく日常生活を送れるようになった方もいる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性					
担当課	健康増進センター					B	3 次年度も継続						
基本目標	施策の柱												
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実												
本事業と関連のある他計画													
第8期富士見市高齢者保健福祉計画													

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	一般介護予防事業（フレイルチェック事業）	フレイルサポーターを養成し、高齢者の社会参加や地域貢献を促進する。また、フレイルチェックにより虚弱高齢者を早期に発見、介入することで、健康寿命の延伸をはかる。	対象：高齢者 期間：通年 会場：フレイルチェック 公共施設 募集人数：フレイルチェック 各回20人 フレイルサポーター 30人/年 内容：フレイルサポーター養成研修、フレイルチェック測定会 継続年数：2年 年事業予算額：608千円 ※フレイルとは、虚弱を意味し、加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態をいいます。	フレイルサポーター養成：14人 フレイルチェック測定会：24回 287人 事業決算額：458千円	フレイルサポーター養成は目標人数に届かなかった。さまざまな事業をとおして、フレイルサポーターに関心をもてるような働きかけをしていく必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	健康増進センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
										継続性・発展性	
										3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画											
第8期富士見市高齢者保健福祉計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	一般介護予防事業（介護支援ボランティアポイント事業）	ボランティア活動を通じ、高齢者の社会参加や地域貢献を促進する。高齢者が高齢者を支える機運を醸成する。	対象：高齢者 期間：通年 内容：介護保険施設等でボランティア活動をおこない、ポイントをためる。 継続年数：5～9年 事業予算額：3823千円	登録者数：318人 活動時間数：10,222時間 事業決算額：3,054千円	コロナ禍で、介護保険施設でのボランティア受入が困難となったが、地域のサロン活動等をポイント付与対象とするなど工夫した。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	健康増進センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
										継続性・発展性	
										3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画											
第8期富士見市高齢者保健福祉計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	一般介護予防事業（ふじみパワーアップ体操普及事業）	誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、運動と社会参加の機会をつくる。	対象：高齢者 期間：通年 会場：公共施設、集会所等 内容：パワーアップリーダー養成講座、パワーアップクラブ開設講座 継続年数：10年以上 事業予算額：377千円	パワーアップリーダー養成講座：8回コース、延べ参加者140人 パワーアップ体操地域クラブ数：52クラブ 実参加者数：1,085人 事業決算額：205千円	活動休止中のクラブへ再開支援を実施し、再開することができた。また、新しいクラブを1クラブ開設した。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	健康増進センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
										継続性・発展性	
										3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画											
第8期富士見市高齢者保健福祉計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民健康づくり事業（生活習慣病予防教室）	生活習慣病の予防に向けた基礎知識の習得をはじめ、食事や運動について日常生活で実践できる具体的な方法を体得し、健康の自己管理ができるように支援する。	対象：成人 日時：年間4回程度 会場：市内公共施設 募集人数：20名程度 内容：生活習慣病予防に関する講話等 継続年数：10年以上 事業予算額：50千円	①糖尿病予防 日時：令和4年11月8日 会場：ピアザ☆ふじみ 参加人数：7名 ②高血圧予防 日時：令和4年12月21日 会場：ピアザ☆ふじみ 参加人数：13名 ③脂質異常症予防 日時：令和3年12月2日 会場：鶴瀬公民館 参加人数：9名	①②③感染症拡大防止のため、試食なしの開催となった。講話だけでも理解促進を図れたが、講座と試食を行い、頭と舌で学ぶ機会とし、普段の食生活の意識向上に結び付けたい。 ④腎疾患のある方とその家族、興味・関心がある人の参加が多く、幅広い年齢層が参加した。医師・管理栄養士からの講演は説得力があり、満足度・理解度が高かった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	健康増進センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実													
本事業と関連のある他計画														
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ														
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民健康づくり事業（ヘルスセミナー）	若い世代に対して、自分自身の健康と生活習慣病予防等に関心を持てるよう支援する。	対象：成人 期間：ヘルスチェック開催時 会場：健康増進センター 内容：生活習慣病等の予防・啓発 継続年数：10年以上 事業予算額：6千円	日時：令和4年10月4日、令和5年2月7日 会場：健康増進センター 参加人数：77名 事業決算額：5千円	乳房モデルによる乳がん触診体験及び自己触診啓発チラシの配布、野菜摂取に関するパネル展示やレシビの配布を行った。 40歳未満の若い世代への啓発ができた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	健康増進センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実													
本事業と関連のある他計画														
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ														
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民健康づくり事業（歯周病予防教室）	歯周病を生活習慣病の一つとして捉え、正しい口腔ケアについて学び、自己管理ができるよう支援する。	対象：成人 日時：年間2回程度 会場：市内公共施設 募集人数：20名程度 内容：口腔ケアに関する講話等 継続年数：10年以上 事業予算額：20千円	日時：令和4年10月6日、 会場：市民総合体育館、ピアザ☆ふじみ 講師：埼玉県歯科衛生士会朝霞支部 歯科衛生士 参加人数：13名 事業決算額：29千円	積極的な周知ができず少数での開催となった。 生活習慣病と口腔衛生は深い関連があることを含め、知識の普及啓発を推進していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	健康増進センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実													
本事業と関連のある他計画														
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ														

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民健康づくり事業（運動講座）	生活習慣病予防のための運動について、日常生活で実践できる具体的な方法を体得し、健康の自己管理ができるようにする。	対象：成人 日時：年間9回程度 会場：市内公共施設 参加費：傷害保険料 募集人数：20名程度 内容：生活習慣病予防のための運動の実践等対象 継続年数：10年以上 事業予算額：151千円	日時：令和4年5月23日等計7回 会場：市内公共施設 講師：NPO法人日本カルチャーヨガ協会、花谷整骨院院長、県民健康福祉村等 参加人数：延71名 事業決算額：151千円	ウォーキングやヨガ、筋トレなど自宅で実践できる内容を行い、参加者の運動に対する意識の向上を図ることができた。 休日（土日）開催を行ったことで、若い世代の参加もあった。参加今後も成人期が参加しやすい日程・時間設定を行う。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	健康増進センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実													
本事業と関連のある他計画														
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ														
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民健康づくり事業（地域健康相談）	地域の要望に沿った健康づくりをテーマし、地域・団体単位で継続的に健康づくりに取り組めるよう支援する。	対象：町会や団体等 期間：通年 会場：集会所等 内容：町会等と相談して決定 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	日時：令和4年6月13日、7月23日、9月11日、11月1日、1月23日 会場：水谷公民館、中央図書館、市民総合体育館 参加人数：210名 事業決算額：23千円	要望を受け健康長寿サポーター養成講座を実施した。健康に関する幅広い知識の提供を行うことができた。参加者から活発な発言があり、意欲的に学んでいただいた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	健康増進センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実													
本事業と関連のある他計画														
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ														
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価								
事業名	市民健康づくり事業（所内健康相談）	生活習慣病や食事について、保健師・管理栄養士による個別相談を実施し、健康の保持・増進につなげる。	対象：成人 期間：毎月1回（電話相談含む） 会場：健康増進センター 内容：個別健康相談 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	日時：毎月1回（電話相談含む） 会場：健康増進センター 参加人数：54名（R5.3.15現在） 事業決算額：0円	医療にかかる前の方に対し、食生活や運動習慣等について対象者の生活状況に合わせた個別相談を行い、健康の保持・増進につなげた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性						
担当課	健康増進センター					<table border="1"> <tr><td>取組成果</td></tr> <tr><td>2 一定の成果を挙げている</td></tr> <tr><td>実施手法</td></tr> <tr><td>2 手法は概ね適切である</td></tr> <tr><td>継続性・発展性</td></tr> <tr><td>3 次年度も継続</td></tr> </table>	取組成果	2 一定の成果を挙げている	実施手法	2 手法は概ね適切である	継続性・発展性	3 次年度も継続	B	3 次年度も継続
取組成果														
2 一定の成果を挙げている														
実施手法														
2 手法は概ね適切である														
継続性・発展性														
3 次年度も継続														
基本目標	施策の柱													
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実													
本事業と関連のある他計画														
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ														

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	市民健康づくり事業（健康に関する講演会）	いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみを推進するため、テーマに沿った講演会等を開催し、健康づくりについて啓発を進める。	対象：市民 期間：年1回 内容：健康に関する講演会等 継続年数：1年 事業予算額：200千円	日時：令和4年10月22日 会場：キラリ☆ふじみ 講師：(株)タニタヘルスリンク 参加人数：76名 事業決算額：291千円	30～80歳代と幅広い世代の参加があり、栄養・食生活について関心が高まった方が多く、健康づくり活動のスキルアップにつながった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	健康増進センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	市民健康づくり事業（健康マイレージ事業）	生活習慣病を予防するための運動習慣づくりを支援するため、ポイント制度を活用し楽しみながら歩くことを促す。	対象：成人 期間：通年 内容：歩数に応じたポイント獲得や運動教室参加によるポイント獲得等によって、プレゼント抽選に参加できる。 継続年数：5～9年 事業予算額：1,922千円	新規登録者数555名（合計3,250名）（R5.1月末現在） 賞品授与者218名 事業決算額：2,654千円	日々の歩数がグラフで見え、ポイントが溜まることで励みになるという声があり、楽しみながらかつコロナ禍でも安心して実施できる運動習慣づくりを支援できた。市独自の抽選の当選者数を増やしたことで、参加者のモチベーション向上につながった。県より、R5年度末で終了と連絡あり、丁寧な周知を行う必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	健康増進センター					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	自殺対策事業（ゲートキーパー養成研修）	自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる「ゲートキーパー」の役割を担う人材等を養成する。	対象：市内在住、在学、在勤の方 期間：年2回 継続年数：5～9年 事業予算額：60千円	対象：市内在住、在学、在勤の方 期間：年2回 日時：3月3日（午前・午後） 場所：針ヶ谷コミュニティセンター67名 事業決算額：60千円	例年研修参加者が少なかったが、今回は民生委員をはじめ、幅広い年代の参加があった。次年度に向けても、継続して養成することができよう研修内容などについても検討していく必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	健康増進センター					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ											
第2期富士見市自殺対策計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	家庭学習応援事業	児童・生徒が主体的に取り組めるよう支援を行い、学習意欲と達成感を高め、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。	対象：小学5・6年生、中学3年生 期間：7～3月 会場：鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター 委託事業者：平成29-令和3年度は株式会社エデュケーショナルネットワーク 参加費：小学生3,500円、中学生1教科5,500円 募集人数：小学5年生60名、小学6年生60名、中学3年生1教科60名 開講教科：小学生…算数、中学生…数学、英語（1教科の選択可） 継続年数：5～9年 事業予算額：12,273,000円	対象：小学5・6年生、中学3年生 期間：7～3月 会場：鶴瀬公民館、水谷公民館、針ヶ谷コミュニティセンター 委託事業者：株式会社トライグループ 参加費：小学生3,500円、中学生1教科5,500円 参加人数：小学5年生52名、小学6年生57名、中学3年生 英語58人、数学58人 開講教科：小学生…算数、中学生…数学、英語（1教科の選択可） 継続年数：5～9年 事業予算額：12,096,499円	アンケートより、80%以上の参加者が満足を得ていると回答した。残りの参加者の満足度を上げるために事業者と共に今後の運営方法について検討する必要がある。。 申込者が募集定員に達していない為、次年度は更なる周知が必要。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	生涯学習課					取組成果	B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性			3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画									
第2次教育振興基本計画									
夢つなぐ富士見プロジェクト+(プラス)									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	国際交流フォーラム（再掲）	多文化共生の地域づくりを目的として、外国籍市民との交流企画、国際交流関係展示、体験と交流のコーナーなどを通じ、様々な国や地域の文化と触れ合う機会を作り、国際交流関係者、外国籍市民との相互交流を図る。	対象：子ども、一般 日時：10月1日（土） 会場：キラリ☆ふじみ 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：80,000円（謝礼生涯学習課分）、100,000円（謝礼文化・スポーツ振興課分）	実施日：令和4年10月1日 ※本年度は新型コロナウイルス感染症対策を実施する中での開催。 ・「やさしい日本語」の講演会 ・外国籍市民のスピーチ ・弦楽四重奏による世界の音楽コンサート ・国際交流、多文化共生団体に等による活動状況の展示 会場：キラリ☆ふじみ 参加人数：一般の方140名	新型コロナウイルス感染症対策を加味した中で実施できる内容とし、入場者数も制限した中での実施であった。 内容もコロナ禍以前とは大きく異なるものとなったが、参加者アンケートでは概ね好評であった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	生涯学習課、文化・スポーツ振興課					取組成果	B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性			3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画									
富士見市第6次基本構想第1期基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	子ども大学☆ふじみ	大学やNPOなどと連携して取り組み、地域の教育力の向上を図るとともに、子どもたちに多様な学びの機会を提供する。	対象：小学4年生～6年生（定員40名） 期間：6～9月 会場：市内公共施設、淑徳大学、立教大学等 内容：学校では学ぶことができない、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動 主催：子ども大学☆ふじみ実行委員会 継続年数：10年以上 事業予算額：920,000円（補助金）	対象：小学4～6年生 参加者：40名（申込61名） 期間：6～9月 会場：市内公共施設、淑徳大学、立教大学等 内容：クイズラリー、アナウンサー体験、プログラミング等 主催：子ども大学☆ふじみ実行委員会 継続年数：10年以上 事業決算額：未定（補助金）	実行委員会と協働で講義内容等を決めている。定員を上回る申し込みがあり、魅力あるプログラムが作成できた。また全講義平均して80.3%の子どもたちが「楽しかった」と回答しており、多くの子どもたちに満足してもらうことができた。引き続き実行委員会と協働で、多くの子どもたちに興味を持ってもらえるよう子ども大学を実施していきたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法			2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性			3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民人材バンク	幅広い分野における人材を発掘し、その情報を提供することによって、市民一人ひとりの多様な学習や活動を支援し豊かな地域社会をつくる。	対象：市民 期間：通年 継続年数：10年以上 事業予算額：80,000円（補助金）	利用件数：138件（中止除く） 延利用人数：5996名 登録件数：262件 事業決算額：88,107円（内補助金対象額 80,000円）	利用者満足度について、98.4%が「とても良かった」「よかった」との回答を得られた。前年度に比べ、利用件数58件、登録件数13件増加し、登録者、利用者の開拓ができた。また、モデル事業について、4件行った。合計54名がモデル事業を受講し、そのうち2名が登録者となった。引き続き、利用者・登録者の増加に向け、推進員の会との連携・協働を図っていく。本年度は推進員の会強化のため、推進員を3名増員したが、引き続き高齢化が課題。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標③	学習成果の活用機会の創出					継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
第2次教育振興基本計画								
第7期高齢者保健福祉計画								
第3次富士見市男女共同参画プラン								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生涯学習ガイド	市内の生涯学習事業の一覧を作成し、周知を行うことで、市民の生涯学習活動を支援する。	市内の生涯学習事業の一覧を作成し、冊子の配布・HPに公表し周知を行う。 対象：市民 日時：6月発行予定 継続年数：5年以上 事業予算額：消耗品費のみ	市内の生涯学習事業を掲載した生涯学習ガイドを作成。公共施設に印刷した冊子の配布とHPに公表し周知を行った。 配布箇所：23か所 配布部数：69部 事業決算額：不明（紙代）	令和4年度は発行が遅くなってしまった。令和5年度は例年どおりの発行を目指す。また、より市民の方に手に取ってもらえるような内容・ビジュアルを引き続き研究し、今後の紙面に反映させていく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
						3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
第2次教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生涯学習推進委員会	富士見市生涯学習推進委員会を設置し、富士見市の生涯学習を推進する。	生涯学習に関する、教育委員会、市長部局の担当課による委員で構成される生涯学習推進委員会にて、富士見市の生涯学習の推進・進捗管理や部署間の連携の為に情報交換を行う。 期間：年2回程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	開催日：9月26日（月） 会場：中央図書館集会室 内容：令和4年度生涯学習推進アクションプランの進捗状況評価 他	令和3年度より第3次生涯学習推進基本計画がスタートした。計画の進捗管理を行うための委員会を開催し、担当課評価が低いものを中心に確認を行った。委員の意見を集約し、各課へフィードバックを行うことで生涯学習推進アクションプランの推進を図る。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	生涯学習課					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	推進体制の充実					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性	3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画								
第2次教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	生涯学習推進市民懇談会	広く市民の意見を求めるため、富士見市生涯学習推進市民懇談会を開催し、富士見市の生涯学習を推進する。	学識経験者、市民団体等の代表者などで構成される生涯学習推進市民懇談会にて広く市民の意見を求め、富士見市の生涯学習を推進する。 期間：年2回程度 継続年数： 5～9年 事業予算額： 消耗品費、参加者謝礼	開催日：10月20日（木） 会場：市民総合体育館多目的室3	令和3年度よりスタートした第3次生涯学習推進基本計画のアクションプランの評価を初めて行った。目標について数値目標のような具体的な設定がされておらず、評価が困難であると意見があった。次年度の目標を掲げる際に懇談会で出た意見を反映させたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	生涯学習課					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	推進体制の充実							
本事業と関連のある他計画								
第2次教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	人権教育推進事業（人間尊重啓発講座）	様々な人権問題の解消と、市民一人ひとりがお互いを認め合い、尊重しあえる地域社会づくりを目指して、公民館ごとにテーマを定めて開催する。	対象：市民 期間：年4回、4公民館で1回ずつ実施予定。時期は未定 継続年数：10年以上 事業予算額：講師謝礼のみ	①日時：9月8日 午前10時～11時45分 会場：水谷東公民館 テーマ：『民法改正で変わった創相続～配偶者居住権（短期居住権）とは～』 参加人数：37人 ②日時：12月21日 午前10時～11時15分 会場：南畑公民館 テーマ：『南畑お月見一座の寸劇と交通安全と防犯』 参加人数：41人 ③日時：3月11日 午後1時30分～3時 会場：鶴瀬公民館 テーマ：『みんなで考えよう！非正規労働者の人権問題』 参加人数：15人	様々な人権問題について、地域活動の中心である公民館で講演を開催することは人権問題を身近に捉える良い機会となっている。今後も引き続き時代に合った人権問題について考える場として継続して開催する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	生涯学習課					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第2次教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	人権教育推進事業（人権教育講演会）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。	対象：市民 期間：年1回 継続年数：10年以上 事業予算額：講師謝礼のみ NPO法人富士見市民大学と共催で開催	日時：12月3日午後1時30分～3時30分 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール テーマ：『障害者と共に生きる地域づくり』 講師：佐藤 陽氏（十文字学園女子大学 ボランティアセンター長/人間生活学部 人間福祉学科教授） 参加人数：42人	NPO法人市民大学と共催することで、講師の選定について市民の意見を取り入れることができ、市民が直接受講したい、聴きたいことをテーマにすることができる。差別や偏見を許さない地域社会づくりを行っていくためにも今後も継続すべき事業である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	生涯学習課					B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱							
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実							
本事業と関連のある他計画								
第2次教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	人権教育推進事業（社会人権教育指導者養成講座）	人間尊重の教育理念に基づき、あらゆる差別や偏見を許さない地域社会づくりを目標とする。	地域や団体において積極的に働きかけのできる人材の養成を目的とし、市内の小・中特別支援学校のPTA役員を対象に開催 対象：PTA役員等 期間：ローテーションにより1年度6校で実施 継続年数：10年以上	①日時：8月23日 会場：水谷小学校 テーマ：『人権感覚の育成』 講師：人権教育主任 金子 由香利氏 参加人数：40人 ②日時：11月22日 会場：富士見台中学校 テーマ：『思春期における心と体の多様性を学ぶ』 講師：助産師 埼玉県青少年教育指導者 桜井 裕子氏 参加人数：200人程度 ③日時：1月19日 会場：針ヶ谷小学校 テーマ：『化学物質過敏症についての理解/LGBT』	子どもたちへの人権感覚を育成し、啓発していくためにも、保護者・教員をはじめ指導者側になるべき立場の人たちへの人権問題に対する啓発は有効と考える。 引き続き、人権教育を担う立場の保護者・教員のために実施していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	生涯学習課					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
							継続性・発展性					
本事業と関連のある他計画												
第2次教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	地域子ども教室	放課後や週末などに子どもが安心して活動できる場をつくるとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。	対象：市内在学の小学生 期間：通年 会場：各小学校、公民館等 委託事業者：各企画運営委員会 継続年数：10年以上 事業予算額：3,537,000円	対象：市内在学の小学生 参加児童数：3,730人 参加ボランティア数：1,034人 期間：通年 実施回数：51回 会場：各小学校、公民館等 委託事業者：各企画運営委員会 継続年数：10年以上 事業決算額：1,229,009円	コロナ禍であっても子どもたちに安心安全な居場所を提供できるよう工夫して開催できた教室と、安全面を鑑みて年度内の活動を休止した教室がある。担い手の高齢化・固定化に加え、活動ができていない教室のスタッフのモチベーションの維持が課題。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	生涯学習課					取組成果	C	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			1 見直しが必要である			
基本目標②	新たな人材の発掘						継続性・発展性					
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次教育振興基本計画												
第2期富士見市子ども・子育て支援事業計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（おはなし会）	子どもを対象に、おはなし会を行い、図書館や本に対して親しみを持つ機会を作る。	対象：幼児・小学生 日時：毎月 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館 参加費：無料 内容：子どもに本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び等を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額：指定管理料を含む	日時：各館の予定に合わせて水・金・土・日に実施。 会場：各図書館・児童館等 講師：無 参加人数：（2月末実績） おはなし会 2135人140回 映画会 1059人 63回	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、実施回数等も以前の状況に戻ってきた。 一部英語を入れたおはなし会、野外おはなし会、バリアフリー映画会なども行われた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標①	学習環境の整備						継続性・発展性					
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市子ども読書活動推進計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（富士見市子ども読書コンクール）	小学生・中学生を対象に、自分で読んだ本を短い文章（POP）で人に紹介することにより、読解力や文書力が育つ。小学生・中学生が読書の楽しさを広げていく機会を作る。	対象：小学生・中学生 日時：11月（図書館まつり） 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：本を短い言葉や絵で紹介するPOPを募集し、優秀作品の表彰および作品展示を行う。 継続年数： 5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：11月13日に表彰式実施。 会場：中央図書館 講師：無 応募作品数：264点	全小学校・中学校からの応募有り 通常の教育長賞、図書館長賞、審査員特別賞、あいあい賞の他、富士見市50周年特別賞有り	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
基本目標①	学習環境の整備					継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市子ども読書活動推進計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（子ども司書講座）	図書館の仕事体験しながら学び、図書館や本の楽しさを周囲にも伝えていけるような子ども達を育成していく。	対象：小学生 日時：夏休み 会場：中央図書館 参加費：無料 内容：図書館の仕事体験および図書の分類等についての学習する。 継続年数： 5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：8月3日～5日（3日間連続講座） 会場：中央図書館 講師：図書館職員 対象：市内在住小学4年生～6年生 参加人数：6人	新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となったが、参加した子どもたちも楽しんで参加し、継続して実施していくことの必要性を改めて感じた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
基本目標①	学習環境の整備					継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市子ども読書活動推進計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	図書館運営事業（読み聞かせ講座）	読み聞かせの技術向上のための講座を開催し、読み聞かせボランティアの育成に努める。	対象：読み聞かせに興味がある方 日時：年に1回 会場：図書館 参加費：無料 内容：読み聞かせの際の注意点や本の選び方等を学ぶ。 継続年数： 5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	未実施	読み聞かせの安定的な実施のためには、ボランティアの新規育成は必須と思われる。来年度以降は実施していく必要有り。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	生涯学習課					取組成果	未実施	—				
基本目標	施策の柱					未実施						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			—			
基本目標①	学習環境の整備					継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第3次富士見市子ども読書活動推進計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	図書館運営事業（図書館職員のおすすめ本）	利用者が本を選ぶ手助けと読書の幅を広げる機会を作る。	対象：利用者全体 日時：テーマ展示は毎月、福袋は年に1回 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館 内容：お正月の時期の本の福袋の他、本のテーマ展示を行う。 継続年数：5～9年 事業予算額：指定管理料を含む	日時：毎月実施。新年の福袋も実施。 会場：中央図書館、鶴瀬西分館、ふじみ野分館	単に本を展示するだけではなく、テーマに合わせた飾りつけを行い、貸出意欲の増加につながった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	生涯学習課					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
基本目標①	学習環境の整備					継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						-					
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	文化財保存団体連絡協議会への支援	市指定文化財であるお囃子や獅子舞などの民俗芸能を保存・継承する団体で構成する文化財保存団体連絡協議会への補助金の交付や活動の支援を行い、市民へ周知するとともに、後世へ守り伝えていく。	市指定文化財であるお囃子や獅子舞などの民俗芸能を保存・継承する団体で構成する文化財保存団体連絡協議会への補助金の交付や活動の支援を行い、市民へ周知するとともに、後世へ守り伝えていく。 対象：文化財保存団体加盟7団体 継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（補助金交付額）	確定額：（未定） 補助金経費として、後継者育成のための練習物品の購入などを実施した。	年々後継者が少なくなってきたり、若い人が関心を持てるような取り組みが必要となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	生涯学習課					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						-					
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	ほろたま展	大型商業施設（ららぽーと富士見）における文化財展示を開催し、市の埋蔵文化財を通して、歴史を市民に広く紹介する。	対象：市民 日時：10～11月の土日を含む数日間 会場：ららぽーと富士見 内容：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団との共催という形で、展示事業を実施。その中で富士見市のブースを設け、市内の埋蔵文化財について展示解説を実施。 継続年数：5～10年 事業予算額：0円	事業名：ほろたま展2022 開催日：10月8日～9日 見学者：4,009人 コロナ禍の影響で、事業を縮小した。	コロナ禍により事業縮小の中の実施であったが、市民・県民の多くの方々に埋蔵文化財の周知することができた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	生涯学習課					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画						-					

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	子育てサロン	乳幼児を持つ親が子どもと一緒に気軽に集い、子育ての孤立感を解消し、仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とし、また子どもと離れて落ち着いた環境で子育ての不安や悩みを話し合うことができる機会も提供する。	[親子はーとふるTime] 対象：乳幼児と保護者 日時：毎週金曜日 午前10時半から11時45分 定員親子8組程度 [おかあさんのほっとTime]保育付き 対象：乳幼児の保護者 期間：4月から3月 年6回 午前10時半から12時 募集：6人（保育も同じ） [げんきっこTime] 対象：幼児と保護者 日時：月1回程度 水曜日 10時半から11時半 定員：親子6組 参加費：なし 継続年数：10年以上 予算額：79,400円	親子はーとふるTime 3月31日で25回実施予定 参加延べ人数401人 おかあさんのほっとTime 7回実施 参加延べ人数80人 げんきっこTime 11回実施 参加延べ人数82人 指導小林礼子氏	親子の集いの場として定着し、仲間づくりや情報交換が出来る。また子育ての不安や悩みを軽減できる機会となっている。育休中の参加者が増えニーズが変化しつつあると思われる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	おかあさんのステップアップ講座	乳幼児を持つ親育ちの機会として、様々な子育てに関する学習の場として開催する。	対象：乳幼児の保護者 期間：5月から3月 回数：6回 会場：鶴瀬公民館 募集人数：各回10人程度 保育付きあり 継続年数：10年以上 予算額：69,500円	耳ツボマッサージ 講師市民人材バンク内山奈津子氏 7月15日 「親子で楽しむリズム遊び」講師大澤愛氏 9月9日「簡単おやつ作り」講師市管理栄養士 10月21日「子どもの成長にあった言葉かけ」市保育士 10月28日「子育て世代のマナー講座」講師埼玉県金融広報アドバイザー岡本藤栄氏 11月11日「ベビーダンス」講師市民人材バンク大山かおる氏	子育てに関する様々な学習の機会を提供できた。また、市民人材バンク講師による講座も開催できた。親子で参加できる講座のニーズが増えている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	子育てコーチング講座	親子のコミュニケーションスキル向上と、成長とともに変化する子育ての悩みなどを出し合い解決する学習機会として開催	対象：幼児から小学生の保護者 日時：9月 2回 午前10時～正午 会場：鶴瀬公民館 参加費：なし 募集人数：各回15人程度（保育10人程度） 継続年数：10年以上 事業予算額：39,800円	9月22日「ママの元気に効くコーチング」参加人数21人 9月29日「子どもの心の成長に効くコーチング」参加人数28人 講師 斉藤智子氏	コーチングスキル学んで簡単な体験もでき効果も実感できたと思われる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	高齢者サロン	保健と福祉、社会教育が連携し、住民の参加を得ながら「健康づくり、地域づくり」を目指して介護予防を推進する。介護予防施設「いきいき活動室」の常設事業として、サロン型事業（3つのサロンの定着）を開設する。	【ひだまりほっとたいむ】 日時：第1～第3木曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：月100円 【うたごえサロン】 日時：第1～第4火曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：月100円 【おしゃべりサロン】 日時：毎週水曜日 午後1時30分～3時30分 参加費：なし 対象：高齢者 会場：鶴瀬公民館 募集人数：20名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	ひだまりほっとたいむ実施回数30回参加延べ人数568人 うたごえサロン実施回数32回参加延べ人数482人 おしゃべりサロン実施回数42回参加延べ人数190人	サポーターの高齢化により人数の減がみられる。サポーターの発掘が喫緊の課題となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画						第2次富士見市教育振興基本計画						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	介護予防事業	介護予防施設「いきいき活動室」の常設事業として、リハビリグループの自主活動支援を行う。	【つるの会】 日時：毎週火曜日 午前10時00分～12時00分 会場：鶴瀬公民館 対象：高齢者 募集人数：20名程度 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	つるの会実施回数33回参加延べ人数295人	リハビリグループによる自主活動（フレイル予防）に対し、場所の提供だけでなく公民館が出来る支援も推進していく必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない			
本事業と関連のある他計画						第2次富士見市教育振興基本計画						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	小学生体験教室					地域の小学生が、体験教室を通じて、学び合いから交流の輪を広げる機会とする	対象：市内小学生 日時：7月～8月（夏休み中） 会場：鶴瀬公民館 参加費：100円～300円程度 夏休みの工作作りを実施。 募集人数：10～20人程度 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円	①植物画に挑戦 7月22日（金）10人参加 講師 植物画同好会②木の枝で作るフォトスタンド 8月4日（木）7人参加	①今年度、初企画の植物画は触れる機会が少ないポタニカルアートの画法を学んだだけでなく、世代を超えて地域の市民同士が交流できる、よい機会となった。②定番のフォトスタンド作りも好評で、熱心に材料選びから製作まで取り組んでいた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬公民館	取組成果	A	3 次年度も継続								
基本目標	施策の柱	3 十分な成果を挙げている										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない							
本事業と関連のある他計画		第2次富士見市教育振興基本計画										

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	健康スマイル講座（市民生活講座）	地域資源や、地域の人を持っている能力を、講座を通して広く共有することにより、生きがいや健康づくりに寄与することを目的に開催する。	対象：市内在住の方 日時：通年（月1回） 午前10時～正午 会場：鶴瀬公民館 参加費：なし イムス富士見と連携をし、健康講座を月1回実施。 募集人数：15名程度 継続年数：6年 事業予算額：0円	6/23「夏バテ予防と食事について」管理栄養士 11名 7/28「家でできる簡単な運動」作業療法士 7名 8/24「動脈と静脈のお話」医師 18名 10/27「家でできる簡単な運動とウォーキング」理学療法士 10名 11/24「薬についての知識」薬剤師 16名 1/26「低栄養について」管理栄養士 14名	健康スマイル講座について、昨年度から引き続き、定員を設け、消毒・検温等感染対策を行った上で実施した。キャンセル待ちが出るほど人気の講座もあり、市民からのニーズを強く感じている。定期的に行えたことで参加者も定着してきている。今後もアンケートを取りながら、市民が聞きたい内容の講座を行っていききたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					3 実施手法は適切で見直しの必要はない						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					3 次年度も継続						
本事業と関連のある他計画						第2次富士見市教育振興基本計画						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	つるせ公民館まつり	学習・文化・スポーツ等の公民館活動の日頃の成果を確かめ合い、互いの交流を深めるとともに、公民館活動の地域への一層の広がり地域住民の幅広い参加・交流のために開催する。新型コロナウイルス感染対策のため、規模を縮小し、黙食会場を設けて開催。	対象：公民館利用者 日時：5月21日（土）、22日（日） 会場：鶴瀬公民館 公民館利用団体の発表の場として年1回開催。舞台発表、展示、模擬店などを実施。 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	コロナ禍で2年ぶりの開催となった。いきいき活動室を黙食会場とし、手指消毒、飛沫防止板で席を区切り対面とならないような工夫をした上で、なおかつ模擬店での提供品も調理を必要としないものに限定し、飲食可能とした。参加団体はコロナ禍以前には至らないものの、多くの舞台発表があった。久しぶりの開催でサークル・団体間の交流を深める事ができた。	コロナ禍の開催で参加団体も舞台発表15団体・展示4団体と、以前より少なめではありましたが、次年度へつなげる為の開催意義があった。模擬店出店が少なかった為、子供たちの参加も減少傾向となり、今後の課題となった。コロナが一段落すればまた以前のように参加事業団体も増え、子供たちにも喜んでもらえる「公民館まつり」になると思う。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					2 手法は概ね適切である						
本事業と関連のある他計画						第2次富士見市教育振興基本計画						
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	げんもりかん					市民団体との協働による芸術・文化活動の普及を目的とし、主に映画の上映を行う。年間2回の開催。	対象：市民 日時：10月29日 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール 内容：映画会を年1回開催 参加費：前売り800円・当日1,000円 募集人数：1日3回上映、各回120名 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	日時：10月29日（日） 会場：鶴瀬コミュニティセンターホール 上映作品：「タクシー運転手～約束は海を越えて～」 入場者①10:00～85名 ②14:00～72名 ③18:00～32名 計189名	昨年度同様、新型コロナウイルスの感染状況から、例年2回の開催が1回となった。ただ、入場者は昨年88名だったのが、今回は189名となり大幅に増えた。やはりテレビやネットで映画を鑑賞するよりも、大勢の方と一緒に大画面で鑑賞することを楽しみにしていることが窺えた。今後も引き続き、地域の方々が喜んでもらえるような作品を選定して上映できるように活動していききたい。またコロナ前	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬公民館	取組成果	B	3 次年度も継続								
基本目標	施策の柱	2 一定の成果を挙げている										
基本目標①	市民との協働による事業の充実	2 手法は概ね適切である										
本事業と関連のある他計画		第2次富士見市教育振興基本計画										

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	富士見市子どもフェスティバル	富士見市の子どもたちの健全な成長を願い、富士見市における青少年活動の集大成の場として、子どもたちに「ふるさと富士見」と呼べる文化を伝える機会として開催する。富士見市全域の子どもたちが一堂に会し、遊びの体験や子どもが主役のステージ発表、模擬店などでのふれあいを通して、思い出づくりや意識を育む場とする。今年は新型コロナウイルス感染対策のため、規模を縮小したうえで事前申込：入れ替え制とする。	日時：6月26日（日） 午前10時～午後3時まで 会場：市民総合体育館内 内容：子どもステージ、アトラクション、ポスター展示など 継続年数：10年以上 事業予算額：2,567,000円	日時：6月26日（日） 午前10時～午後3時まで 会場：市民総合体育館内 内容：子どもステージ、アトラクション、ポスター展示など 参加人数：938人 事業決算額：926,865円	子どもたちが遊びなどの体験を通して、地域の子もや大人たちと交流を深めることができた。コロナ禍のため縮小開催だったが、久しぶりの発表の場で子どもたちの笑顔が見られた。学生ボランティアは募集しなかったが、ステージの司会を富士見高校生ボランティアに依頼し、活躍してくれた。今後は、コロナ前の状態で開催できるように検討する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性			3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	富士見市民大学	市民自らが考え、参画し、自己創造していく市民大学を目指している。富士見市民大学は、2006年から市民大学推進市民の会（2008年NPO法人富士見市民大学）が事業委託、2016年から補助金を受けて鶴瀬公民館との協働により運営。	対象：市内在住の方 期間：6月～2月 会場：鶴瀬公民館等市内公共施設 参加費：300円～800円（運営費・保険料） 文学講座・文章実作教室・国際社会学・社会保障学・富士見の歴史・行政と市民生活・ふじみ自然塾・市民サロン塾・親子で自然教室等、毎年様々な講座を開催 継続年数：10年以上 事業予算額：1,100,000円	9講座と公開講演会を開講した。昨年度から引き続き、定員を設けての実施であったが、6講座で定員を超える応募があった。また、出席率70%を超える連続講座が4つあり、市民の要望が高かったことが窺えた。	全体としては参加者にも好評であり、盛況であるが、運営側の理事及びスタッフが高齢化しており、準備等の人員も不足している。運営側の増員が課題である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない
						継続性・発展性			3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	ピースフェスティバル	1984年6月富士見市議会において「富士見市非核平和都市宣言が全会一致で決議された。これを受けて1987年に、富士見市として非核平和都市宣言を行い、この理念を多くの市民に広げる目的で記念事業として、ピースフェスティバルの開催をはじめとした平和・憲法啓発事業を実施する。	日時：7月上旬～8月 会場：鶴瀬公民館 内容：市民平和祈念のつどい、舞台発表、市民構成劇、展示、模擬店、フリーマーケットなど 継続年数：10年以上 予算額：510,000円	その1：7月30日～7月31日 展示コーナー・ピースステージ・模擬店（鶴瀬公民館・コミセン） その2：8月3日～14日 市民平和作品展（市立中央図書館展示ホール） その3：8月5日～31日 小学6年生によるピースカード展示（市内公共施設7館） その4：8月15日 平和の鐘を鳴らそう 参加人数合計2,578名	今年度もコロナ対策で分散・縮小開催としたが、昨年度よりは取組みを増やし、参加人数も増やすことができた。ふだん公民館を利用している団体や若年層が参加できる内容を検討し、より幅広い層の市民が当事業に関心をもてるようにする。また、企画・運営側の実行委員の増員も課題である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である
						継続性・発展性			3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	戦争体験を語る市民派遣事業	富士見市教育行政方針に基づいて取り組んでいる。学校と社会教育の連携事業の一環として、社会科などの授業の中で小学6年生が市民による戦争体験を聞き、命を尊ぶ平和学習の機会をつくる。	対象：市内小学校6年生 期間：9月～1月 会場：市内各小学校 協力：各公民館、鶴瀬西交流センター 戦争体験を語る話者を各小学校に派遣する。授業1時間分を使って実施。 その際、ビデオ撮影をし、2名の体験談をDVD記録化。 継続年数：10年以上 事業予算額：84,000円	実施校：3校（うち2校はDVD視聴での実施） 参加人数：143人 派遣話者：2人	45分間という短い時間ではあるが、子どもたちは、話者の話を真剣に聞き、質問も積極的にしていた。子どもたちが今の生活の尊さや平和について考える学習の機会とすることができた。戦後77年が経ち、戦争実体験をお話いただける方が減少しているため、話者の発掘や記録化が課題。DVDの活用を進めていく工夫なども必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱								
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	ふじみ青年学級	知的障がい等をもつ15歳以上の市民を対象に、学習・音楽・文化・スポーツ活動を支援し日常生活をより豊かにしていくと共に、なかま同士の関わりと地域交流を深める。	対象：知的障がい等をもつ15歳以上の市民 期間：5月～3月 会場：鶴瀬公民館ほか 参加費：無料 食材費等の負担は有り 継続年数：10年以上 事業予算額：313,000円	実施月日 5月8日（開級式&音楽クラブ）参加人数27人 5月22日（公民館まつり）参加人数22人 6月12日（工作：七夕飾り）参加人数20名 11月6日（野菜の収穫・音楽クラブ）参加人数19人	令和4年度はコロナ禍の中、4回開催出来た。学級生やボランティアスタッフの増員が課題となっているが、特別支援学校や福祉作業所などと連携を深めていく必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱								
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	鶴瀬学級	地域に住む60歳以上の方を対象に、学習機会を提供する。教養講座、趣味クラブを通じて時代に適応できる知識を高めるとともに、親睦を図ることを目的とする。	対象：鶴瀬公民館区に在住の60歳以上の方 日時：5月～3月 会場：鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンターホール 内容：教養講座（年6回）、趣味活動（年15回） 会費：年2,000円 募集人数：266人 継続年数：10年以上 事業予算額：70,000円	日時：5月～3月 会場：鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンターホール 学級生：147名 内容：教養講座（年6回）、趣味活動（年14回）、社会見学、文化祭	昨年度は中止だった料理クラブ、社会見学、文化祭を新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、復活させることができた。また、コーラスクラブの講師の退任に伴い、新たな講師を発掘できた。引き続きコロナ禍により昨年度よりも学級生が減少した。よりいっそうのPRと、新しいクラブの創設も検討したい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱								
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	富士見市地域・自治シンポジウム	自ら行動し、まちの風景を変えている方々をパネリストに招き、具体的な実践事例を学ぶことにより参加者一人一人の行動へと結びつける機会とする。	日時：1月～2月頃 内容：事例発表、グループワークなど 会場：鶴瀬コミュニティセンターなど 参加費：無料 継続年数：10年以上 事業予算額：90,000円	実施日：2月26日（日） 会場：鶴瀬コミュニティセンター テーマ：子どもたちにつなぐ まちづくりのバトン 登壇者：4人 参加人数：57人 事業決算額：60,000円	参加者は少なかったが、好評であった（アンケート結果等から）。それぞれの立ち位置で「子ども」を育む活動を続けている、3人のパネリストの、背負い過ぎない関わり方に多くの参加者が感銘を受けたようだ。多くの人に地域での地道な活動を知ってもらう機会になった。企画から関わりたいという方も複数いた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱								2 一定の成果を挙げている			
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供								実施手法	2 手法は概ね適切である		
										継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	鶴瀬公民館だより発行事業	市民による編集委員の視点で、地域の課題や話題を取り上げ、地域に目を向けるきっかけを提供する。また公民館活動の情報などを市民に提供する。読者が楽しめる特集を組む。	A3版両面印刷、鶴瀬公民館区内の世帯・関係機関に年10回配布（約19,500部）。 編集会議を月1回開催。 1面：わがまち点描、公民館施設利用案内等 2・3面：特集 4面：公民館事業案内、編集委員雑感 継続年数：10年以上 事業予算額：695,000円	鶴瀬公民館区内の世帯・関係施設等に年10回配布（約19,500部）。 編集会議を月1回開催。	編集委員が今年度2名増え、編集会議でもさらに様々な意見が活発に出るようになった。読者から感想もたまに寄せられ、公民館だよりに対する地域の方々の関心の高さがうかがわれ、編集委員の励みにもなっている。 より興味深い特集テーマの設定と、時間に余裕をもった編集作業を行いたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱								2 一定の成果を挙げている			
									実施手法	2 手法は概ね適切である		
										継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	公民館運営審議会	公民館の管理・運営・事業推進などを審議する。また、公民館事業に積極的に参加することで、実際の取り組み状況を把握し、さらに活性化を図る。	対象：各公民館利用団体や各種地域団体から選出された16人の委員により、概ね年4回の審議会及び鶴瀬地区の審議会を概ね年4回開催。 継続年数：10年以上 事業予算額：384,000円	第1回：6月29日（水）水谷東公民館、内容①「コロナ禍における新しい生活様式の中での施設の在り方」について報告、②令和3年度「富士見の公民館」について、③各館の本年度の事業概要について 第2回：7月19日（火）南畑公民館、内容①委嘱状交付式②自己紹介③議長選出 第3回：10月12日（水）鶴瀬公民館、内容①公運審会議について来年度に向けて②wi-fi導入後の事業提案について 第4回：2月16日（木）水谷公民館 内容①令和5年度の公民館運営審議会において協議するテーマ(案)について 事業決算額：315,000円	公民館活動の充実が市民の日常活動の活性化・充実につながる。そのためには、市4館が活動や運営について情報を交換・共有し学びあうことで課題に取り組み、事業の充実に繋げることが重要である。そのために、公民館運営審議会のさらなる充実が必須である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱								2 一定の成果を挙げている			
基本目標①	市民との協働による事業の充実								実施手法	2 手法は概ね適切である		
基本目標①	推進体制の充実									継続性・発展性		
基本目標②	新たな人材の発掘											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	鶴瀬公民館利用者懇談会	鶴瀬公民館を利用している団体・サークルの任意加入連携組織として「鶴瀬公民館利用者懇談会」がある。その地域づくりを意識した自主的・自立的活動を支援する。	年度初めの役員会から始まり、各種会議や自主事業・事業協力等、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額：0円	実施日:令和4年11月25日(金) (1) wi-fi整備について (2) サークル紹介画像・動画のHP掲載許可について「富士見市公共施設利用団体・サークル紹介カード兼ホームページへの情報掲載申込書」 (3) 利用懇側からの依頼等「利用連役員募集」	鶴瀬公民館もホールにおいて入場制限が緩和され定員数通常時266名、コロナ禍120名としておりましたが、現在240名(最前列を除く)となり、更なる公民館利用活性化につながる手法の一つとして、wi-fiの利活用があり、その活用の仕方については今後の課題となってくる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標①	市民との協働による事業の充実					2 手法は概ね適切である		
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性		
基本目標③	市民間交流の促進					3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	公民館施設維持管理事業	安心・安全な施設管理を目的とし、利用者目線での施設維持管理を図る。	①施設維持管理に関する各種業務委託を実施。 継続年数：10年以上 事業予算額：54,486千円	安全で快適な施設提供ができています。	施設も40年を経過し建物の経年劣化がみられる、また設備ではエレベーターもリニューアルが必要となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	鶴瀬公民館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								
富士見市公共施設等総合管理方針								
富士見市公共施設個別施設計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	家庭教育支援事業	同世代の子を持つ保護者が互いに学びあい、交流の輪を広げる機会とする。	「家族で遊ぼう 紙ペンゲーム」開催予定 対象：小学生とその家族 日時：未定 会場：南畑公民館 講師：未定 参加費：無料未定 募集人数：未定 継続年数：5～9年 事業予算額：未定	日時：12月18日(日) 午後2時～3時30分 講師：松尾信悟氏 参加人数：2家族8人	3世代で参加の家族もあり、誰もがゲームを楽しむことができた。募集時期に新型コロナウイルスの感染拡大傾向にあったため申込者が減少してしまった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
						3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	なんばた学級（高齢者学級）	高齢社会を迎える中で、自ら生きがいを見つけ、活力を得るための一助を目的とする。	地域の60歳以上を対象として、運営委員会（各老人会等の正副会長）で年間計画を立て、月1回全体学級を開催し、クラブ活動（9クラブ）にも取り組む。また、学級だよりを年5回発行。 対象：60歳以上 日時：－ 会場：南畑公民館 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：200,000円（講師謝礼等）	<全体学級> 開催回数：年10回 参加者合計：492人 会場：南畑公民館 <クラブ活動> クラブ数：9 開催回数：－ 会場：南畑公民館 事業決算額：140,000円	高齢者の大切な交流の場にもなっていて全体学級やクラブ活動を楽しみにしている参加者は多い。新たな参加者がいないので、事業のPRも必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					2 手法は概ね適切である						
						継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	わくわく子ども体験室					子どもたちの休日を有意義なものにするきっかけを提供するものとし、自分で考え学ぶ心を育てる。	小学生の休日や長期休暇にあわせて工作物を中心に構成 対象：小学生 日時：令和4年5月7日（日）6月18日（日）午前10時から11時30分 7月26日（火）27（水）午後1時30分から3時 会場：南畑公民館 講師：飯島紀氏・小嶋由香利氏・7月は未定 参加費：7日は200円または500円18日は200円、26・27日は未定 募集人数：各12人 継続年数：10年以上	開催日：5月7日（土）6月18日（土）7月27日（金）7月27日（火） 対象：小学生 参加人数：48人 講師：飯島紀氏 小嶋由香利氏 柳下裕美氏 三塚好江氏 会場 南畑公民館 事業決算額：20,000円	身近な地域の方が講師となり、地域での交流の機会にもなった。SDGSを意識した事業内容にしたことに関心を持つきっかけづくりにつながった。今後も長期休暇に合わせて様々な体験の場を提供していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館	取組成果	B	3 次年度も継続								
基本目標	施策の柱	2 一定の成果を挙げている										
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実	実施手法										
基本目標③	市民間交流の促進	2 手法は概ね適切である										
		継続性・発展性										
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	子ども事業企画「怪皆亭」	年数回の公民館でのイベントを、メンバー（南畑小4～6年生の参加希望児童）が話し合いながら実施していく。様々な地域事業に参加することによって、異年齢間の交流や地域の人とのつながりを大切に、またスタッフの子どもたちの自主性を伸ばす。	①「南畑あそび隊」夏まつりへの参加 ②南畑地域を巡る「ナイトウォーク」開催 ③「なんばた青空市場」への参加 ④「アボなしサンタ」開催ほか（新型コロナウイルス感染拡大により①は中止、③はかかしコンテスト参加に変更） 継続年数：10年以上 事業予算額：16,000円	年間回数：8回 参加人数：24人 対象：南畑小4～6年生参加希望 事業決算額：10,000円	子どもたちの自由な発想や自主的な発言を尊重し、イベントでも子供たちが積極的な活動ができた。					個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法						
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である						
						継続性・発展性						
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑地区体育祭支援	南畑地区の一大イベントであり、地域をあげての取組みである南畑地区体育祭を、地域の活性化と地域コミュニティ構築の場として支援する。	夏前の調整会議に始まり、実行委員会の会議等、当日も含め様々な支援を行う。 日時 10月9日（日） 会場 南畑小学校 継続年数：10年以上 事業予算額： 一 円	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止		個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館					取組成果	未実施	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑ふるさとまつり支援	公民館利用団体、サークル・地域団体等の活動成果発表の場、地域住民相互の親睦と交流の場として南畑公民館利用者の会が主催する「南畑ふるさとまつり」を支援する。	1月の第1回全体会に始まり、各部会会議等、3月の当日も含め、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額： 一 円	開催日：3月12日（日） 来場者：約1,000人 内容：舞台発表、模擬店、展示 会場 南畑公民館(館内及び駐車場)	天候に恵まれたことや、4年ぶりの開催という事で大勢の人でにぎわい、公民館利用団体、サークル・地域団体等の活動成果発表の場、地域住民相互の親睦と交流の場となった。子ども連れの家族も多く、三世代で楽しんできた。運営委員の高齢化が進んでいる事が課題となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	南畑公民館利用者の会活動支援	南畑公民館を利用している団体・サークルの任意加入連携組織として「南畑公民館利用者の会」がある。その地域づくりを意識した自主的・自立的活動を支援する。	年度初めの役員会から始まり、各種会議や自主事業・事業協力等、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上 事業予算額： 一 円	実施期間：4月～3月 役員会、理事会、総会、グラウンドゴルフ大会協力、ソフトボール大会協力、公民館大掃除、新春交流会、文化公演会『落語を楽しむ』共催、南畑ふるさとまつり協力	公民館利用団体や地域団体の横のつながり・交流を促す意味で重要な会である。サークル間の交流や各団体活動が活性化できるような援助や、利用者相互の結びつきを強める援助が必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					実施手法		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					継続性・発展性		
基本目標②	新たな人材の発掘							
基本目標③	市民間交流の促進							
基本目標③	市民との協働による事業の充実							
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	南畑お月見一座支援	地元南畑の人たちで構成されている劇団「南畑お月見一座」が、地域的话题を盛り込んだ新作を毎年創り続けている。また防犯を目的とした寸劇を市内外で行っていることから、これからの地域づくりへの関心や意欲・防犯意識を高めあう団体として支援していく。	長編公演として、毎年2月に南畑ふれあい劇場として新作劇披露の場として支援している。また寸劇公演を2市1町のエリアを中心に高齢者サロン等での披露等、様々な支援を行う。 継続年数：10年以上	実施期間：4～3月 12/21 なんばた学級全体会 寸劇公演（詐欺被害防止） 2/4 南畑ふれあい劇場『旅は道づれ』	感染症防止対策により、各チームでの練習や、長編公演を2回公演にするなど、密にならない工夫をして開催することができた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切である					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性					
基本目標③	市民との協働による事業の充実						3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	地域子ども教室「南畑あそび隊」支援	南畑地域の子ども事業の中心であり、学年が違う子どもたち同士や子どもと地域住民をつなぐ「南畑あそび隊」。学校と地域をより深くつなぐ重要な事業であると位置づけ、積極的に支援する。 継続年数：10年以上	南畑小学校の授業がある月曜日の放課後に自由遊びを実施している「南畑あそび隊」を支援する。また7月の日曜日に開催される「あそび隊夏まつり」にも協力している。 継続年数：10年以上	あそび隊夏まつり 開催日：7月17日（日） 会場：南畑公民館 参加数：302人	久しぶりの夏まつりで大盛況となった。対応するスタッフの増員が望まれる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切である					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性					
基本目標③	市民との協働による事業の充実						3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価	
事業名	文化公演会	身近な施設で日本の伝統芸能文化に触れる。 継続年数：5～10年 事業予算額：10,000円	日時：令和5年2月18日（土）午後1時30分～2時30分（予定） 会場：南畑公民館 内容：落語 入場料：無料 主催：南畑公民館利用者の会・南畑公民館	日時：令和5年2月18日（土） 午後1時30分～2時30分 会場：南畑公民館 参加人数：78人 内容：落語を楽しむ 入場料：無料 主催：南畑公民館利用者の会・南畑公民館	来場者が毎年楽しみにしていることが分かった。身近な施設で日本の伝統文化に触れることができる機会である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法					
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切である					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性					
基本目標③	市民との協働による事業の充実						3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	南畑まちづくり協議会支援	住民が主人公となって、南畑地域全体のまちづくり活動を行う「南畑地域まちづくり協議会」への支援を行うことを通し、地域住民相互の交流と地域の活性化を図る。	①「子育てサロンちびっこあおむし」でクリスマス会を共催で実施。②1月のもちつき交流会を支援する。③「南畑まちcafé」の開催を支援する。④農バルプロジェクトとタイアップした「まち協ニュースレター」の発行を支援する。等、様々な支援を行う。 (新型コロナウイルス感染拡大により③は中止) 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	①12月8日(木)「子育てサロンちびっこあおむし」でクリスマス会を共催で実施。 ②1月22日(日)もちつき交流会実施 ③11/17(木)、12/15(木)、1/19(木)、2/16(木)、3/16(木) 「南畑まちcafé」開催 ④農バルプロジェクトとタイアップした「まち協ニュースレター」の発行(令和4年度5回発行)	準備や会場提供、当日の協力、取材支援などを実施し、地域住民相互の交流と地域の活性化を図る事業について支援が実施できた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					実施手法					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					2 一定の成果を挙げている					
基本目標②	新たな人材の発掘					2 手法は概ね適切である					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標④	市民との協働による事業の充実										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	南畑ふれあい劇場	地元素人劇団「南畑お月見一座」の新作劇初演の場として、その時代背景や地域課題を反映した劇を通して、楽しみながらも地域問題や課題を考える場とする。また身近な施設で気軽に演劇を鑑賞できる機会の充実を図る。	日時：令和5年2月11日（土） 会場：南畑公民館 入場料：無料 内容：お月見一座新作劇 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円	「テケレッツのパ」（延期公演） 実施日：6月11日 2回公演 参加者：122人 入場料：無料 「旅は道づれ」 実施日：2月4日 2回公演 参加者：170人 入場料：無料 事業決算額：30,000円	アンケートでは、次回も楽しみにしていると好評だった。新型コロナウイルス感染症対策により2回公演としたが、次回は1回公演に戻すか検討していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					実施手法					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					3 十分な成果を挙げている					
基本目標②	新たな人材の発掘					3 実施手法は適切で見直しの必要はない					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性	3 次年度も継続				
基本目標④	市民との協働による事業の充実										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	南畑公民館だより発行事業	地域住民で構成された編集委員会の視点で地域の話や課題を取り上げ、地域情報や交流の場の広報紙として公民館情報と共に発信する。	月1回（2・8月除く）発行。A4判8ページ立て。館区内世帯・関係機関へ配布。 月1回の編集会議では、特集等の紙面構成を検討。その他適宜取材を実施。 継続年数：10年以上 事業予算額： ー 円	発行回数：年10回（8・2月除） 発行部数：1760部 編集会議：月1回	公民館で活動しているサークルを特集ではコロナ禍でも工夫して楽しんでいる様子が感じられたと読者から好評だった。編集委員が増員になったが、編集会議の開催時間に課題がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					実施手法					
基本目標①	学習環境の整備					2 一定の成果を挙げている					
						2 手法は概ね適切である					
						継続性・発展性	3 次年度も継続				
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	南畑ぎやらりい	公民館の利用団体やサークル会員が、公民館施設を利用して制作した作品を展示することにより、サークルの活動内容等を公開し、交流の輪を広げる機会とする。	公民館ロビーにコーナー設置した展示スペースで、最長概ね1か月を目途に、各種団体の作品等を展示する。 継続年数：10年以上	展示回数：15回	活動サークル団体だけではなく、地域の方などの作品も展示をすることができた。今後も声掛けをしていく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性	3 次年度も継続					
基本目標③	学習成果の発表機会の充実											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	公民館運営審議会南畑地区会議	南畑公民館の管理・運営・事業推進などを審議する。また、公民館事業に積極的に参加することで、実際の取り組み状況を把握し、さらに活性化を図る。	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員により、概ね年3回の審議会を開催。 継続年数：10年以上 事業予算額： 一 円	6月9日(木)、10月20日(木)、2月9日(木)に会議を開催	南畑公民館の管理、運営、事業推進などについて意見等を頂き、公民館事業を進めていく上で活用をしている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標①	推進体制の充実					継続性・発展性	3 次年度も継続					
基本目標②	新たな人材の発掘											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	なんばた青空市場	生産者と消費者が直接交流する場を設けることによって、生産者の顔が見える地元生産物をPRし、コミュニケーションを図る。	市民による実行委員会が運営している。例年11月3日（祝）に南畑幼稚園隣接の田んぼにおいて開催。地元生産物（農産物）の販売や、各種模擬店・フリーマーケット、焼き芋販売やかかしコンテスト、さんだら飛ばし・かぼちゃの重さ当てコンテスト・米のつかみ取り等のイベントを開催している。 日時：11月3日（木・祝） 会場：南畑幼稚園近くの田んぼ 講師：－ 参加費：無料 募集人数：－ 継続年数：10年以上（なんばた青空市場） 事業予算額：112,000円	日時：11月3日（木・祝） 午前10時～午後2時 会場：南畑幼稚園及び幼稚園周辺の田んぼ ・南畑幼稚園前の田んぼで模擬店、フリーマーケット、焼き芋等のイベントを実施した。実行委員会予算で交通安全協会に協力依頼。公民館予算で仮設トイレ3基設置。 【イベントコーナー】かかしコンテスト10/26～11/3、トラクター試乗体験、さんだら飛ばし、やさいも、やさいの重さ当てクイズ、米のつかみ取り、アートバルーン、子どもコーナー、ポニーの乗馬体験 【模擬店・フリーマーケット】 農産・生産物販売、各種模擬店、100円おにぎり 【オープニング】 東中学校吹奏楽部演奏 【抽選会】 500円で1回の抽選 ・農バル企画とのタイアップを行い、地域内のお店の無料券などを当選賞品にした 【かかし】・かかし作りは、公民館職員がサポート ・審査員他、webからも一般投票を行った 【その他】・感染症対策のため、参加者は当日の朝に体調管理チェックシートの記入、各模擬店に手指消毒ジェルを設置	天候に恵まれ、例年よりも多くの人手で賑わったため、飲食店の売り切れが早かった。 かかしコンテストは22作品出展し、子ども連れの家族が多く、三世代で楽しんでくれた。まつりの内容も好評だった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	南畑公民館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標③	市民間交流の促進					実施手法			2 手法は概ね適切である			
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	子育てサロン「ちびっこあおむし」	少子化や孤立感を持つ親が増えている状況の中で、親と子が楽しい時間を過ごす場を提供し、子ども同士が仲良く遊び、親同士が子育ての悩みなどを話し合える仲間づくりの機会とし、地域で子育てができる環境づくりを目指す。	毎月1回（年間12回）開催。 ボランティアスタッフによる無料の子育てサロン。対象は未就園児とその親で、子どもを持つ親同士の交流の場として、また親と子が一緒に遊べる場としている。季節や月齢に応じた催しや、手遊び・絵本の読み語りなどを行っている。年1～2回、子育ての講演を聞いたり、プロの芸術活動を鑑賞したりするなど、スタッフだけではできない分野も取り入れて、親の気分転換や子どもの豊かな感情を育成する工夫をしている。 対象：未就園児とその親 日時：毎月1回（木曜日） 会場：主に南畑公民館 講師：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：99,000円	開催数：12回（月1回） 参加人数：延べ157組320人 会場：南畑公民館 事業決算額：49,000円	アンケートでは、子どもを見てくれるスタッフが複数いて安心。同じ年齢の子と遊べてうれしかったと好評だった。地域への転入者が増加傾向にあるため、事業の周知が課題である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性	3 次年度も継続					
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	利用者懇談会					定期利用団体の声を反映した公民館運営及び利用者同士の交流や施設の整備に反映させる場とするため開催する。参加者の意見を聞き、公民館事業や施設の整備に反映させる。	令和4年6月29日（土） 消防訓練・公民館利用等についての意見交換 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 円	6月29日(土)18名参加 12月10日(土)60名参加	利用者同士の交流や利用者と公民館の共通理解の場とすることや、利用団体の声を反映する場として開催できた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館									取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱	2 一定の成果を挙げている										
基本目標①	市民との協働による事業の充実	実施手法	2 手法は概ね適切である									
基本目標③	市民間交流の促進	継続性・発展性	3 次年度も継続									
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）					担当課評価		
事業名	農バルプロジェクト支援	南畑地域内の農・商・工業等事業者のネットワーク化を図り、それに関わるイベントを企画し、地域内の活気と賑わいを生み出すプロジェクトを支援する。	①南畑まち協とタイアップし、地域の飲食店等の事業者をニュースレターとして紹介する（隔月発行）。 ②地域内の飲食店等事業者の参加による「（仮称）なんばたスタンプラリー」を開催する。 以上の事業を主催する農バルプロジェクト事業企画委員会を公民館として物心両面で支援する。 （新型コロナウイルス感染拡大により②は中止） 継続年数：4年 事業予算額：－ 円	①ニュースレターの発行(令和4年度5回) ②地域内の飲食店等事業者の参加による「なんばた青空市場抽選会」に変更し開催。	様々な手法で地域内の活気と賑わいを生み出すプロジェクトについて企画や作成補助の援助ができた。今後もその事業に合わせた支援の方法が必要					個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	南畑公民館									取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法	2 手法は概ね適切である					
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性	3 次年度も継続					
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	動画配信（Webの活用）	社会状況（新型コロナ）を踏まえた生涯学習の在り方を、施設に来館しなくとも可能な生涯学習としての一方策を実施する。	過去に実施した講座と同内容のものを中心にWeb配信した。「おうちで楽しむ公民館」と題して ①おうちでかんたん気軽に体操（PART1・PART2） ②おうちにあるものでおさかなつり③アロマの虫よけスプレー作り④ひと手間であらびきも立派なアート作品に！⑤【パネルシアター】ちびっこあおむし⑦【パネルシアター】やさいマンのおふろでゴシゴシ！だれかな？⑧ふわっとしっとり「米粉のチョコどら焼きの作り方 さつまいもあん」⑨施設紹介⑩事業紹介の計10番組を配信した実績に基づき、動画配信に適する内容を精選し制作する。 継続年数：2年	配信動画数：1コンテンツ 高齢者学級『なんばた学級』紹介動画	動画編集ソフトの導入、編集用PCの買い替えを行った。 公民館で行っている活動を、来たことが無い方にも知ってもらえるツールとなった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	施設維持管理事業	安心・安全な施設管理を目的とし、利用者目線での施設維持管理を図る。	①施設維持管理に関する各種業務委託を実施。 ②必要な修繕を実施 継続年数：10年以上 事業予算額：2,303,000円	令和4年度に関しては大規模な故障等発生せず	大規模修繕を令和2も年に実施しているが、築40年を経過している建築物であるため、今後も適切な施設の維持管理が必要。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	南畑公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	親の学習講座（子育て学習支援事業お母さんのステップアップ講座）	親育ちの機会として、子育てなどに役立つ学習や体験を通して、仲間づくり、育児疲れの解消やリフレッシュの場を提供する。	・お母さんのステップアップ講座 対象：未就園児の親 開催日時：6～3月 会場：水谷公民館 参加費：材料費など実費 募集人数：12名程度 継続年数：10年以上 予算額：157,000円	①「子育てに役立つアンガーマネジメント」参加者3人 保育幼児2人 ②「楽しいベジタブル講座～野菜は元気のアプリケーション～」参加者7名 保育幼児6人 ③「お月見だんごづくり」参加者9人 保育幼児7人 ④「ハロウィーンのスイーツデコ」参加者11人 保育幼児8人 ⑤「クリスマスのスイーツデコ」参加者7人 保育幼児3人 ⑥「ママのためのやさしいヨガ」参加者11人 保育幼児10人 ⑦「世界に一つの絵手紙づくり」参加者4人 保育幼児3人 事業決算額 84,500円	講座内容により、参加人数に差が生じていることから、より多様なニーズに対応した講座内容を検討する必要がある。また、申込や周知についても、子育て世代のニーズに合わせた新たな方法を検討する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画後期計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	親の学習講座	少子化、核家族化、地域コミュニティの希薄化などを背景として、子育てをする親の不安や孤立感の深まりが問われている。講座を通じて、親自身の学びや気づきの機会、親同士の学び合いや交流の機会を作り出すことを目的とする。	不登校や引きこもり等の子育てをする親の不安や孤立感に悩む市民の学びの機会を提供する講演会を開催する。 対象：市民一般 開催日時：3月 会場：水谷公民館 参加費：なし 募集人数：40名程度 継続年数：10年以上 予算額：20,000円 (教育講演会と兼ねる)	日 時：令和5年3月18日（土）午後1時～ 会 場：水谷公民館多目的ホール 内 容：第1部：講演会 不登校・ひきこもり講座～親やおとなたちはどう向き合えばよいか～ 講師 川合雅久氏（NPO法人 星槎教育研究所 理事、NPO法人 統合教育研究センター 理事長、NPO法人 日本フリースクール協会 理事長、フリースクール英明塾 代表） 第2部：質疑応答・意見交換 午後2時50分～4時30分 事業決算額：60,000円（うち人間尊重啓発講座として、生涯学習課予算から20,000円）	30年以上続く取り組みを今後も継続していくための講演内容等の検討と、この問題に多くの方に参加してもらえるような取り組み、内容の検討、講座開催の周知や案内方向の検討が必要。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	教育講演会	社会的問題となっている不登校や引きこもりなど、教育に関して幅広く学習する機会として実施するとともに、地域ネットワークづくりの一助とする。	不登校や引きこもり等の子育てをする親の不安や孤立感に悩む市民の学びの機会を提供する講演会を開催する。対象：市民一般 開催日時：3月 会場：水谷公民館 参加費：なし 募集人数：40名程度 継続年数：10年以上 予算額：60,000円（うち人間尊重啓発講座として、生涯学習課予算から20,000円）（親の学習講座と兼ねる）	日 時：令和5年3月18日（土）午後1時～ 会 場：水谷公民館多目的ホール 内 容：第1部：講演会 不登校・ひきこもり講座～親やおとなたちはどう向き合えばよいか～ 講師 川合雅久氏（NPO法人 星槎教育研究所 理事、NPO法人 統合教育研究センター 理事長、NPO法人 日本フリースクール協会 理事長、フリースクール英明塾 代表） 第2部：質疑応答・意見交換 午後2時50分～4時30分 事業決算額：60,000円（うち人間尊重啓発講座として、生涯学習課予算から20,000円）	30年以上続く取り組みを今後も継続していくための講演内容等の検討と、この問題に多くの方に参加してもらえるような取り組み内容の検討、講座開催の周知や案内方向の検討が必要。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			3 実施手法は適切で見直しの必要はない		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	健康づくり事業	地域住民が身体を動かしながら親睦を深めることとともに、成人病予防・介護予防につながる健康な心身づくりを進める。	市民の健康づくりの一助となるよう、ノルディックウォーキングなどを開催する。 対象：市民一般 開催日時：9月～10月 会場：未定 参加費：なし 募集人数：20名程度 継続年数：5～9年 予算額：50,000円	コロナ禍により企画段階で中止		個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	未実施	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					未実施					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			—		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	子育て学習支援事業子育てサロン親子フレンドパーク	親が集まり、自由に子どもを遊ばせながら仲間づくりや情報交換ができる居場所づくりを目的とする。	・子育てサロン「親子フレンドパーク」 対象：未就園児の親子 開催日時：通年 会場：水谷公民館児童室など 参加費：なし 募集人数：5組程度 予算額：19,000円 継続年数：10年以上	対象：未就園児の親子 開催日：4/13、5/11、6/1、7/6、8/3、9/7、10/5、11/2、12/7、1/11、2/1、3/1 会場：水谷公民館児童室など 参加費：なし 参加延べ人数 大人29人 子ども29人 事業決算額：17,000円 継続年数：11年以上	新たな協力スタッフの発掘や事業の認知度を高めるため、事業の趣旨の周知や開催案内の手法の検討が必要となっている。 また、メインスタッフとして活躍されている方が今年度で退任されるため早急に後任者を探す必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
						継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
第3次富士見市子ども読書活動推進計画												
富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画後期計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	水谷学級	高齢者をいきいきと暮らすための学習をするとともに、仲間づくりをする。	月1回学級生全体を対象とした歴史の学習や芸術鑑賞などを行う「全体会」と、ジャンルごとに講師を設けて月1～2回の活動を行う「サークル活動」を実施する。 対象：主に水谷地区在住で60歳以上の高齢者 開催日時：5～3月 会場：水谷公民館各室 参加費：なし 募集人数：150人程度 継続年数：10年以上 事業予算額：140,000円	「全体会」はコロナ禍のため未実施。 ジャンルごとに講師を設けて月1～2回の活動を行う「サークル活動」を実施した。 対象：主に水谷地区在住で60歳以上の高齢者 開催日時：6～3月（折紙9回、書道16回、民謡16回、フラダンス16回、体操17回、パソコン16回、舞踊11回） 会場：水谷公民館各室 参加人数：延べ698人 継続年数：10年以上 事業決算額：85,000円	参加者の減少、講師の人材不足、高齢化への対策が必要となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画後期計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	水谷公民館企画運営委員会	市民と職員の協働による公民館運営の仕組みを整え、新たな事業展開に資する。	・水谷文化祭における中心的役割 ・館内の季節展示（七夕など） ・交流事業の実施（グラウンドゴルフ&いも煮交流会など） （旧水谷公民館利用者懇談会世話人会） 継続年数：5～9年 事業予算額：なし	館内の季節展示（七夕など）では七夕において短冊をかいてもらうことで参加者同士で交流が生まれた。 継続年数：5～10年 事業決算額：0円	事業の協働運営には欠かすことのできない存在となっており、さらに、公民館と利用者が必要な情報を共有しあえる体制づくりを進める必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	新たな人材の発掘					継続性・発展性			3 次年度も継続			
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	水谷公民館だより発行事業	地域住民による編集委員会を中心に、地域課題や話題を掘り起こし、地域への関心を高める。また各種情報提供を通じて公民館活動や市民活動等の周知を図る。	市民編集委員（12名以内）により編集会議を月1回開催、特集記事のテーマ決定など行っている。A3版両面刷り、館区内全戸配布（約16,000部）。特集記事(オモテ面)及び「公民館からのお知らせ」(ウラ面)において、生涯学習情報を発信する。 継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館予算から支出	市民編集委員（12名以内）により編集会議を月1回開催、特集記事のテーマ決定など行っている。A3版両面刷り、館区内全戸配布（約16,000部）。特集記事(オモテ面)及び「公民館からのお知らせ」(ウラ面)において、生涯学習情報を発信する。事業決算額：鶴瀬公民館予算から支出 継続年数：10年以上	年齢や居住年数に関わらず、より多くの人が地域への関心を深めることができるよう、紙面内容の検討が必要となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	水谷文化祭	公民館利用団体、サークル、各種定期利用団体の活動の成果の発表や、誰もが気軽に参加できる多彩な催しを通して、地域住民相互の交流と親睦を深める。	公民館利用団体、サークル活動の成果発表。舞台発表、展示発表など。 対象：市民 開催日時：11月上旬 会場：水谷公民館 参加費：ナシ 募集人数：特にナシ 予算額：10,000円 主催：水谷文化祭実行委員会 継続年数：10年以上	・開催日時：11月12日～13日 ・内容：オープニングセレモニー、リレー演奏動画上映、舞台発表（ギター演奏、女声コーラス、ハワイアンバンド、民謡、踊り、フラダンス、ハーモニカ）、展示発表（絵手紙、陶芸、七宝焼、書道、手作り小物、折り紙、パッチワーク、俳句）、模擬店（バザー、料理レシピ配布、鉢植え販売） 事業決算額：10,000円 継続年数：10年以上	運営を担う人材が固定化しているため、新しい人材を確保することが必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	公民館運営審議会水谷地区会議	水谷公民館の運営・事業・施設維持管理等についての課題を中心に意見交換、協議を行うことを通じて、各種事業展開に活かしていく。	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員により、概ね年4回の審議会を開催。 継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館の予算から支出	公民館の運営や事業について、評価、アドバイスをいただき、利用者対応や利便性の向上が図られている。事業決算額：鶴瀬公民館予算から支出 継続年数：10年以上	地域課題や問題、地域の特色に関して、水谷公民館が果たす役割など、地域公民館について議論する機会が少なく、各種事業展開に活かすことが難しかった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標①	推進体制の充実					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標②	新たな人材の発掘										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	施設維持管理事業	安心・安全・快適な施設提供に向けて、市民・利用者目線で施設の維持管理を図る。	①施設維持管理に関する各種業務委託、修繕の実施。 ②施設老朽化等に伴う、各種工事の実施。 ③公民館活動サークルや地域住民の作品展示、季節展示など、施設内の景観や居心地の良い空間を作る。 継続年数：10年以上 事業予算額：①300,000円 ②なし ③なし	施設の設備などを修繕することで、利用者の安全、安心、快適な利用に寄与した。 事業決算額：①2,301,805円 ②なし ③なし	施設の建築から40年が経過し老朽化が進んでいるため、施設の現状を注視し、これまで以上に計画的な工事の検討や日常修繕の実施に取り組んでいく必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
富士見市公共施設等総合管理方針											
富士見市公共施設個別施設計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	学習情報の発信、提供・相談窓口の充実	生涯学習支援としてイベント等の情報の発信、提供を行い、職員の専門性の向上に努め、学習等相談窓口の充実を図る。	YouTubeチャンネルを活用した動画配信や市ホームページ、施設の情報コーナーでイベント等の情報発信・提供を行うとともに、学習ニーズ等の相談に随時対応する。 対象：一般 時期：随時 会場：水谷東公民館 外 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－	・YouTubeチャンネルによる情報発信 時期：令和4年6月 内容：「いかだラリー思い出写真展」 ・ホームページ、情報コーナーで情報発信・提供、学習等の相談 時期：随時	ホームページや動画配信により今後もタイムリーな情報発信に努める。 利用者が最新情報を入手しやすい情報コーナーとして今後も整備に努める。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	公民館だより発行事業	地域情報の発信、公民館情報の提供や地域課題の掘り起こしを図り、また、紙面を通じた地域交流を図ることを目的とする。	地域住民からなる編集委員会を中心とした、公民館だより「ひがし」の編集、発行。 対象：地域住民 時期：毎月1回 2,900部発行 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館だより編集委員会	時期：毎月1回、水谷東4町会へ全戸配布 2,900部 編集委員：7人 執行額（報償費）：21,000円 連携・協力団体：公民館だより編集委員会、PVクラブ	身近な地域情報誌として公民館事業の情報や地域課題の投げかけを行うとともに、紙面を通じた地域交流や人材の掘り起こしにつながっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	川の探検隊	地域を流れる柳瀬川を活用し、自然や環境について学ぶ機会とするとともに、地域への愛着醸成を図る。	柳瀬川の水質検査、魚とり、学習会を実施 対象：小学生以上 時期：6月19日(日) 会場：水谷東公民館、柳瀬川 参加費：無料 募集人数：小学生以上20人 継続年数：10年以上 事業予算額：15,000円（報償費） 連携・協力団体：やなせ川いかだラリー実行委員会	柳瀬川の水質検査、魚とり、学習会を実施 対象：小学生以上 時期：令和4年6月19日(日) 会場：水谷東公民館、柳瀬川 参加費：無料 参加人数：31人 講師：金澤光氏(埼玉県魚類研究会) 執行額：15,000円（報償費） 連携・協力団体：やなせ川いかだラリー実行委員会	3年ぶりの開催となったが市内各所から参加申込があり関心の高さがうかがえた。身近な地域資源である柳瀬川で親子がふれあいながら水質検査や魚類の生態を学習し参加満足度の高い事業となった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
第2次富士見市環境基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	子育て応援の勉強室	家庭教育支援事業として、親の学びや育ちのを応援することを目的とする。	学習講座の実施 対象：小中保護者 時期：未定 会場：水谷東公民館 ※オンラインでの配信も実施予定 参加費：－ 募集人数：30名 継続年数：10以上 事業予算額：20,000円（報償費） 連携・協力団体：地域小中PTA 外	対象：小中保護者 時期：令和5年2月5日(日) 会場：多目的ホール テーマ：子どもたちのこころのケアを考える 講師：大東文化大学文学部教育学科講師・臨床心理士 北風菜穂子氏 参加費：無料 参加人数：33名 執行額：28,910円（報償費） 連携・協力団体：地域小中PTA 外	受講者アンケートでは『非常に役立つ』50%、『役立つ』46%と満足度の高い結果となった。また自由意見欄には、多くの記載があり、関心の高さがうかがえた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
						継続性・発展性			3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	子ども公民館事業	子どもが公民館活動を体験し、公民館に慣れ親しむことを目的とし、将来の公民館活動の活性化を図る。	年間5～7回料理教室等を実施 対象：小学生 時期：通年 会場：水谷東公民館 参加費：実費徴収 募集人数：10～30名 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体 外	○親子de陶芸 時期：令和5年2月4日(土)、2月25日(土) 会場：多目的ホール 参加人数：親子10組(19名) 参加費：1,500円 講師：竹内晴美氏 執行額：20,000円(報償費) ○料理教室 時期：令和5年2月11日(土) 会場：調理室外 参加人数：5名	親子でふれあいながらの陶芸教室や子どもたちが積極的に大人から指導助言を受けながら楽しんでつくる料理（スイーツ）教室を通して、公民館を身近に感じてもらう機会となった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標②	新たな人材の発掘					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続			
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
健康ライフ☆ふじみ												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	施設維持管理事業	誰もが使いやすく、安全で快適に施設が利用できるよう施設の維持管理を図る。	設備の保守点検等各種業務の委託や修繕の適時発注、備品の整備等 対象：－ 時期：通年 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：5,939,000円	各種設備の保守点検、業務委託のほか、主な修繕として屋外配電盤等修繕(858,000円)、避難誘導灯交換修繕(225,500円)、空調室内機電磁弁交換修繕(143,000円)を実施した。	安全で快適な施設提供を行うため利用者の視点に立った設備更新や維持管理に継続して努める。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている		
基本目標①	学習環境の整備					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								
富士見市公共施設等総合管理方針								
富士見市公共施設個別施設計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	熟年学級	高齢者の生きがいづくりを目的とする。	全体学習会と各部活動の実施 対象：60歳以上の地域住民 時期：6～3月 会場：水谷東公民館 外 参加費：500円 募集人数－ 継続年数：10年以上 事業予算額：140,000円（報償費） 連携・協力団体：熟年学級運営委員会	受講者数：60名(60歳以上) 時期：令和4年6月～令和5年3月 全体会7回開催・参加者延べ286名、クラブ活動9種目・参加者延べ484名 参加費：500円 執行額（報償費）154,000円 連携・協力団体：熟年学級運営委員会	全体会、クラブ活動とも予定どおり実施でき、昨年度に比べ参加人数が増加した。全体会内容の刷新を図ったこともあり皆勤賞が増えた。男性受講者の割合を増やすことが課題となっている。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								
第8期富士見市高齢者保健福祉計画								
富士見市地域福祉計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	豆の木学校	次世代を担う子どもたちの社会性の育成や地域のなかでの繋がりをつくり出し、人材育成を目的とする。	集団生活体験、レクリエーション活動の実施 対象：地域の小学生 時期：8・12月 会場：水谷東公民館 外 参加費：実費徴収 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（報償費） 連携・協力団体：おむすび少年団、参加者の保護者	新型コロナウイルス感染症の影響により夏季事業は中止し冬季のみ宿泊なしで開催。 時期：令和4年12月17日(土),18日(日) 参加者数：児童23名 青年指導員24名 参加費：300円 執行額（報償費）5,000円 連携・協力団体：おむすび少年団、参加者の保護者	子どもたちが班ごとにスマホ等を駆使して動画を作成し、最後に発表会を行った。子どもたちは青年指導員とともに楽しみながら異年齢による集団生活を体験することができた。地域の若者たちにつながる息の長い事業として今後も取り組む。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標②	新たな人材の発掘					実施手法		
						2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		3 次年度も継続
本事業と関連のある他計画								
第2次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	水谷東ふれあいサロン運営事業	介護予防を目的とする。	各種介護予防事業の実施 対象：地域の高齢者 時期：通年 月～土 会場：水谷東ふれあいサロン 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東ふれあいサロン運営委員会	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止 介護予防関連施設「ふれあいサロン」を活用した各種介護予防事業の開催 ふれあいサロン運営委員会、各種事業等延べ362回開催(3/15現在) 参加者延べ4,502名(3/15現在) 連携・協力団体：水谷東ふれあいサロン運営委員会	各部署による様々な事業や気軽に立ち寄れるサロン開放を実施しているほか、行政職も含めた地域関係者が一堂に会して意見や情報交換を実施する運営委員会を定期的に開催するなど参加者の固定化が見られるものの多角的な取組みが行われており、地域の介護予防を推進する拠点として今後も支援を継続する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
										継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
健康ライフ☆ふじみ												
富士見市地域福祉計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	水谷東文化祭	公民利用団体等の活動成果を発表する機会を充実し、学習等の活動を深めるとともに地域住民の交流を図る。	展示、舞台、模擬店等 対象：一般 時期：11月予定 会場：水谷東公民館 外 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東文化祭実行委員会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷東公民館					取組成果	未実施	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					実施手法						
基本目標③	学習成果の発表機会の充実					継続性・発展性						
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	やなせ川いかだラリー	地域を流れる柳瀬川を活用し、自然や環境について学ぶ機会とするとともに、地域への愛着醸成を図る。	参加者が作製したいかだで川を下り、パフォーマンスを競う 対象：一般 時期：7/24 会場：水谷東公民館、柳瀬川 参加費：無料 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：170,365円（報償費等） 連携・協力団体：やなせ川いかだラリー実行委員会	時期：令和4年7月24日(日) 会場：志木大橋から東上線鉄橋手前付近 出艇：7艇 参加費：市制施行50周年記念事業として無料 執行額135,000円(報償費等)	3年ぶりに開催することができ、各艇が個性に富んだパフォーマンスを発揮して会場を盛り上げ、市制施行50周年記念事業に相応しいにぎわいのある事業となった。参加チームを増やせるよう気軽に出艇できるような工夫が求められる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	3 次年度も継続				
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供									継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	親子体験事業	公民館活動への新たな参加者を増やすことを目的とする。	陶芸、いけばな等の体験事業 対象：小学生親子 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：新規 事業予算額：－	子ども公民館事業のなかで親子で体験する事業（親子de陶芸）を組み込み開催した。		個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					未実施	取組成果				
基本目標	施策の柱						実施手法			子ども公民館事業で実施	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						継続性・発展性				
基本目標②	新たな人材の発掘										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	地域問題学習会	地域課題について、学習する機会を提供し、課題解決、まちづくり推進を目的とする。	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（報償費） 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	時期：令和4年7月7日(木) 会場：多目的ホール 講師：(社)終活サポートセンター 杉森真哉氏（終活コーディネーター）、田辺学氏（生命保険・ライフプランナー） テーマ：今日からできる終活の勧め 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	受講者アンケートでは「切実な老後の問題を考えるよい機会だった」「話がわかりやすく、いろいろな事例を聞くことができた」等、好評を得た。今後も地域問題の掘り起こしに向け、より多くの住民の声の収集に努める。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					B	取組成果	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱						実施手法			2 一定の成果を挙げている	
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進						継続性・発展性			2 手法は概ね適切である	
										3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	子育てサロン	子育ての不安や孤立感の軽減を目的とする。	交流の場として人形劇やコンサート等を実施 対象：乳幼児と保護者 時期：通年 会場：水谷東公民館 参加費：無料 募集人数：各回親子6組程度 継続年数：10年以上 事業予算額：91,000円（報償費） 連携・協力団体：公民館利用団体等	時期：毎月1回(8月除く) 会場：ふれあいサロン 参加者：延べ95名 執行額：76,000円(報償費)	参加者アンケートでは、楽しかった、また参加したい、のんびり過ごせて気分転換になったという声が多く寄せられるとともに保護者や子ども同士が交流できる場としてリピーターが多い。協力者である子育てサロンサポーターの後継者養成や人材の確保について検討する必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					B	取組成果	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱						実施手法			2 一定の成果を挙げている	
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実						継続性・発展性			2 手法は概ね適切である	
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供									3 次年度も継続	
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	音楽の夕べ	生演奏と音楽に触れ、地域交流を図る。	対象：一般 時期：12月 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：30,000円（報償費） 連携・協力団体：町会	時期：令和4年12月3日(土) 会場：多目的ホール 参加人数：56名 内容 水谷東1丁目ハーモニカクラブ「オールドダックス」によるハーモニカ合奏、合唱 ※事業終了後、4町会による「イルミネーション点灯式」実施 執行額10,000円(報償費)	音楽の夕べ終了後のイルミネーション点灯式と併せ冬の風物詩として地域に定着しており今後も継続する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	水谷東公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱								
基本目標③	市民間交流の促進								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	仙人体操教室	地域住民の心身の健康増進と交流。	対象：一般 時期：未定 会場：水谷東公民館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：3年 事業予算額：20,000円（報償費） 連携・協力団体：	時期：令和5年1月19日、26日、2月2日 会場：多目的ホール 参加者数：延べ26名 講師：溝越優貴子氏（健康管理士） 内容：仙人体操（タイ式ヨガ） 執行額：15,000円	個人に合わせた無理のない動きで自然に心身のリフレッシュにつながり、リピーター参加が多く定評を得ている。世代や男女を問わず参加しやすい体操のため参加者が広がるよう工夫に努める。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	水谷東公民館					取組成果	3 十分な成果を挙げている	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱								
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	水谷東イエローカフェ	地域交流の場として、誰もが気軽に公民館に来館できる雰囲気づくりを目的とする。	対象：一般 時期：6/26 会場：水谷東公民館 参加費：無料 募集人数：－ 継続年数：2年 事業予算額：－ 連携・協力団体：公民館運営審議会委員	時期：令和4年6月26日(日) 会場：多目的ホール 内容：飲み物（コーヒー、お茶）の提供、ギター弾語り 参加者数：72名 参加費：無料	昨年で任期満了となった前期公民館運営審議会委員との連携により開催した。コロナ禍で人との交流が減少している中、地域の人同士が気軽にふれあえる機会の提供に努めることができた。今後の開催については、連携・協力体制を含め運営方法の工夫など検討する必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	水谷東公民館					取組成果	2 一定の成果を挙げている	C	2 次年度の取組は未定
基本目標	施策の柱								
基本目標③	市民間交流の促進								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	水谷東安心まちづくり協議会との連携・支援	連携、支援により地域のまちづくり推進を図る。	対象：－ 時期：通年 会場：－ 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：9年 事業予算額：－ 連携・協力団体：水谷東安心まちづくり協議会	地域連絡会議や各部会(5部会)の開催、広報つなぐの発行、安心安全ネットワーク会議や水谷東地域支え愛隊の活動等各種事業の実施に加え、まちづくり協議会発足10周年を迎え10周年記念誌「つなぐ」発行、10周年記念式典を挙げる。ちびっこフェスティバル、水谷中吹奏楽部クリスマスコンサートを初開催。構成員数：まち協役員20人、部会員76人	水谷東安心まちづくり協議会の発足10周年を迎えるとともに、コロナ禍で中止していた合同防災訓練や安心安全ネットワーク会議などを3年ぶりに実施することができた。住民主体のまちづくりを推進するため、今後も地域の拠点施設である公民館が事務局として活動の連携支援を実施する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標③	生涯学習を通じたまちづくりの推進					実施手法			2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	公民館運営審議会水谷東地区会議	水谷東公民館の運営・事業・施設維持管理等についての課題を中心に意見交換、協議を行うことを通じて、各種事業展開に活かしていく。	公民館利用団体や各種地域団体から選出された4人の委員により、概ね年4回の審議会を開催。 継続年数：10年以上 事業予算額：鶴瀬公民館の予算から支出	令和4年7月19日全体会にて今期委員委嘱状交付 第1回地区会議10月5日 ・公民館運営審議会委員について ・事業報告・予定について 第2回地区会議2月9日 ・事業報告・予定について ・富士見の公民館について	今期の新たなメンバーで各種事業の状況について情報共有し意見交換を行う機会となった。利用者の立場や市民目線から公民館の各種事業をはじめ、施設・設備も含め幅広く意見や考えをうかがい今後の運営に生かす。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水谷東公民館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標①	推進体制の充実					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標②	新たな人材の発掘										
基本目標③	市民間交流の促進										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	縄文の森コンサート	水子貝塚公園を活用し、市民に本物の楽器、楽曲に親しんでいただくことを目的とする。	毎年、伝統的な楽器を使用した演奏会を実施している。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚公園内展示館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円（報償費）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス対策のため、今年度は中止となった。今後は実施手法を検討し、事業目標の達成を目指す。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	未実施	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					未実施					
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法					
						継続性・発展性			3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	体験！いつでもセブン	誰もが楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学んでもらうとともに、市民間交流の促進を図る。	土・日曜日、祝日や春休みなどの長期休暇中に、まが玉づくりや古代の鏡づくりなどの体験を行っている。 対象：市民 時期：随時 会場：水子貝塚資料館 参加費：無料～800円 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円 連携・協力団体：市民学芸員	日時：通年（土日祝、長期休暇中） 会場：水子貝塚資料館 内容：まが玉づくり、古代の鏡づくり、火おこし体験など7種類 参加人数：延べ1076人 事業決算額：0円	コロナ禍による人数制限の中でも多くの方々に参加いただけた。今後も実施方法をより工夫し、多くの方に参加していただけるようにしたい。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である			
基本目標③	市民間交流の促進						継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	土曜おもしろミュージアム	身近な素材で手軽にできる体験を実施し、水子貝塚公園に親んでもらうとともに、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。	毎月1～2回、土曜日に身近な材料で手軽にできる様々な体験を行っている。 対象：一般 時期：毎月1～2回 会場：水子貝塚資料館 参加費：100～300円程度 募集人数：－ 継続年数：10年以上 連携・協力団体：市民学芸員	日時：毎月1～2回、土曜日 会場：水子貝塚公園・資料館 内容：はにわづくり、ミニチュア土器づくりなど 参加人数：延べ361人 事業決算額：0円	コロナ禍による人数制限の中でも、多くの方々に参加いただけた。今後は現在あるメニューに加えて、新たなメニューを考える必要がある。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である			
基本目標③	地域の人材を活かした学習機会の提供						継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	夏休み縄文体験	縄文時代の生活を体験してもらうことで、地元の当時の歴史に興味を持ってもらうことを目的とする。	毎年夏休み期間中に、火起こしや土器づくりなど縄文時代の生活を体験することができる。 対象：小学4～6年生 時期：7月 会場：水子貝塚資料館 参加費：1,000円 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：20,000円（報償費）、10,000円（消耗品費） 連携・協力団体：資料館友の会（土器づくり部会）、市民学芸員	日時：7月23日 会場：水子貝塚公園・資料館 内容：土器づくり、骨角器づくり、弓矢体験、夜の自然観察会など 参加人数：17人 事業決算額：20,000円	新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となったが、募集人数を上回る応募があった。土器づくり、火おこし体験などの縄文体験に加えて、夜の自然観察会も行ったため、参加者の満足度は高かった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続	
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法			
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である			
							継続性・発展性		
							3 次年度も継続		
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ふじみ考古学教室	毎年度の企画展のテーマに合わせた講演会を実施し、市民が文化財に親しんでもらうことを目的とする。	毎年度の企画展のテーマに沿った講演会を実施する。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：30人 継続年数：10年以上 事業予算額：25,000円（報償費）	日時：3月21日 会場：水子貝塚資料館学習室 講師：高橋龍三郎氏（早稲田大学文学学術院教授） 内容：縄文時代の集落について 参加人数：33人 事業決算額：30,000円	令和4年度企画展に関連して縄文時代の集落に関する講演をしていただいた。定員を上回る応募をいただき、関心の高さがうかがえた。専門家による講演は、企画展のテーマをより深く参加者に伝えることができるため、今後も継続していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続	
第2次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	土器づくり教室	土器づくりの一連の作業（粘土こねから焼成まで）を行うことによって、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。	富士見市内の遺跡から出土した縄文土器をモデルに土器の製作を行う(全4回)。 対象：一般 時期：1～2月 会場：水子貝塚資料館 参加費：500円 募集人数：15人 継続年数：10年以上 事業予算額：40,000円（報償費） 連携・協力団体：資料館友の会（土器づくり部会）	日時：12月4日、18日、25日、1月22日 会場：水子貝塚資料館・公園 内容：縄文土器の製作 参加人数：16人 連携・協力団体：資料館友の会（土器づくり部会） 事業決算額：40,000円	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策の中でも定員を上回る応募をいただき、粘土こねから土器の焼成まで全4回開催することができた。土器づくりを通して、地域の歴史や文化を学んでもらうことができた。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					2 手法は概ね適切である		
基本目標③	市民間交流の促進					継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続	
第2次富士見市教育振興基本計画								
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	ふじみジュニア考古学クラブ	考古学についての基礎学習や体験を通して、富士見市の歴史や遺跡に興味をもってもらうことを目的とする。	大学の教授や資料館職員が講師となり、考古学について講義や体験を通して楽しく学ぶ。 対象：小学4～6年生 時期：10～12月 会場：水子貝塚資料館他 参加費：300円程度 募集人数：15人 継続年数：9年 事業予算額：25,000円（報償費）	日時：10月29日、11月5日、12日、26日、12月10日 会場：水子貝塚資料館・公園 講師：佐々木由香氏（金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任准教授）（第1回）・当館学芸員 内容：大学の先生による講義、収蔵資料の調査・展示など 参加人数：17人 事業決算額：20,000円	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策の中でも定員を上回る応募をいただき、全5回開催することができた。アンケートの中でも楽しかったや来年も参加したいという意見が多く、参加者の満足度は高かった。今後は、より多くの参加者を受け入れることのできる体制を作っていくことが必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法		
基本目標③	市民間交流の促進					2 手法は概ね適切である		
						継続性・発展性		
本事業と関連のある他計画							3 次年度も継続	
第2次富士見市教育振興基本計画								

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価						
事業名	水子貝塚星空シアター	水子貝塚公園を活用し、市民間交流の推進を図るとともに、地域の歴史や文化を学んでもらうことを目的とする。	毎年9月の第1土曜日に、水子貝塚公園を会場に実施している。広場での縄文体験や御神輿などの行列、ステージでの和太鼓の演奏やミニライブ、そして、夜には野外での映画鑑賞といった様々なイベントがある。 対象：一般 時期：9月第1土曜日 会場：水子貝塚公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：42,000円（消耗品費） 1,398,000円（水子貝塚 星空シアター補助金） 連携協力団体：水子貝塚星空シアター実行委員会・市民学芸員	日時：9月3日 会場：水子貝塚公園 参加人数：延べ1200人 内容：野外映画鑑賞会、ステージ、縄文体験など 補助金の交付先：水子貝塚星空シアター実行委員会 事業決算額：42,000円（消耗品費） 1,398,000円（水子貝塚 星空シアター補助金） 連携協力団体：水子貝塚星空シアター実行委員会・市民学芸員・資料館友の会	新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった。野外映画鑑賞の人数制限など例年通りの開催とはならなかったものの、多くの方々に参加していただくことができた。また、ららぽーと富士見と連携してセレモニーの配信、野外映画の同時上映という初めての試みを実施した。今後は、内容を含めて、以前のように戻していくことを検討する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性				
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標						3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性	3 次年度も継続					
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け						事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価		
事業名	市民学芸員育成事業					生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民とともに創出することを目的とする。	生涯学習社会に相応しい市民に開かれた資料館事業を市民と共に創出するため、市民学芸員の育成を行う。 対象：市民学芸員 時期：随時 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：360,800円（報償費） 連携・協力団体：市民学芸員	日時：通年 会場：水子貝塚公園 内容：展示館ガイド、各事業への協力 参加人数：34人 事業決算額：－円（実施中のため未定）	土日祝の園内ガイド、学校見学の対応、各事業への協力など活動日数がコロナ禍前に戻りつつある。資料館事業の遂行には欠かせない存在であり、来年度に第9期の募集になるため、活動を継続して行うための工夫が必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水子貝塚資料館	取組成果	A	3 次年度も継続								
基本目標		3 十分な成果を挙げている										
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供	実施手法			2 手法は概ね適切である							
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供	継続性・発展性	3 次年度も継続									
基本目標③	学習成果の活用機会の創出											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題含む）					担当課評価		
事業名	資料館友の会協働事業	体験教室や先人たちの技術を学び、市民の生涯学習の推進と向上を図る。	資料館友の会と協働で展示などを開催している。 対象：資料館友の会 時期：随時 会場：水子貝塚資料館他 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：10,000円（消耗品費） 連携・関連団体：資料館友の会	日時：通年 会場：水子貝塚公園 内容：土器づくり、体験教室への協力 参加人数：10人 事業決算額：0円	当館主催の体験事業における技術的な指導などを依頼しており、事業開催に欠かせない存在になっている。また会員が自主的に活動を行っており、その成果を資料館の展示等を通じて公表している。					個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続				
基本目標						3 十分な成果を挙げている						
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である			
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性	3 次年度も継続					
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供											
基本目標③	学習成果の活用機会の創出											
基本目標③	市民間交流の促進											
本事業と関連のある他計画												
第2次富士見市教育振興基本計画												

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	水子貝塚資料館企画展展示事業	収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し、市民に知っていたくことで、地域の歴史を学んでもらうことを目的とする。	毎年、収蔵資料の研究成果等を、テーマに沿って発表する企画展を実施。 対象：一般 時期：未定 会場：水子貝塚資料館 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：10年以上 事業予算額：5000円（報償費） 58,000円（消耗品費） 189,000円（展示委託）	日時：令和5年3月18日～6月18日 会場：水子貝塚資料館 内容：打越遺跡～富士見市のもうひとつの縄文前期・大規模集落跡～ 委託先：株式会社トリアド工房 事業決算額：185,900円（委託料） －円（印刷製本費実施中のため未定）	令和4年度は市内の打越遺跡について展示を行った。 企画展示事業開催により、見学者・来館者の増加につながっている。 継続的に開催するために、内容・テーマなどに工夫が必要と考えられる。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	水子貝塚資料館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標						3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	学習環境の整備					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	難波田城公園まつり	難波田城公園を活用し、地域の歴史や文化、伝統行事などを学ぶとともに、市民間交流の促進を図る。	毎年6月の第1日曜日に、難波田城公園を会場に実施。古民家の庭での芸能発表や、古民家内での拓本・紙芝居などの体験や実演、武者行列・火縄銃演武といった様々なイベントを実施する。 活用推進協議会への補助事業として実施 対象：一般 時期：6月6日（日） 会場：難波田城公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：21年 事業予算額：267,000	日時：10/23（日） 会場：難波田城公園内 参加人数：延べ1600人 補助金の交付先：難波田城公園活用推進協議会 事業決算額：－円（まつり以外の事業についても協働しているため決算書未領）	今年度は新型コロナウイルス第7波の影響を受け、10月に延期して実施した。 大掛かりな宣伝は控えていたが、久しぶりのイベントということもあり多くの来客があった。 2年ぶりの開催であり運営経験のない職員・市民ボランティアがいたため、今年度の経験を活かし来年度はスムーズな運営を目指していく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標③	市民間交流の促進										
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	ふるさと体験	地域の伝統行事や暮らしの知恵などを先人たちから学び、伝統行事や先人たちの技術、知恵などを学ぶ機会とする。	関係団体・協力者の支援を受けながら、古民家での味噌づくりや藍の生葉染めなどの体験教室を実施。 対象：一般 時期：8月～3月 会場：難波田城公園 参加費：300円～2,000円 募集人数：10人～30人 継続年数：21年 事業予算額：15,000円	日時：7/24、9/23、12/27、2/25 会場：難波田城公園内 講師：市民学芸員・近隣農家 参加人数：延べ60人 委託先：－ 事業決算額：16,000円	今年度予定していた全ての体験を予定通り実施できた。 感染拡大防止の関係で、試食等に制限を設けることもあったが、概ね例年通りに戻りつつある。 今後は参加人数も含めて以前のように戻していくことを検討する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					継続性・発展性			3 次年度も継続		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	ちょこっと体験	幼児から大人まで楽しめる体験を実施し、地域の歴史や文化を学ぶ機会とする。	土曜日、日曜日、祝日に、ブンブンゴマづくりやジュズダマの腕輪づくりなどの簡単にできる体験を実施。 対象：一般 時期：土日祝日 会場：難波田城公園 参加費：無料～200円 募集人数：－ 継続年数：19年 事業予算額：25,000円	日時：通年(土日) 会場：難波田城公園 協力者：市民学芸員等 参加人数：延べ1547人 委託先：－ 事業決算額：20,000円	昨年度行っていた事前予約制による人数制限を撤廃し、実施日も土日のどちらか週1回だったところを事業と被らない限り土日両方にしたところ、参加者はほぼ例年通りに戻っている。 今後は例年通り祝日の実施も検討する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	難波田城資料館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供						継続性・発展性	3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	難波田城資料館企画展展示事業	収集した文化財や収蔵資料についての研究成果を企画展として発表し、市民に知っていただくことで、地域の歴史を学ぶ機会とする。	毎年春と秋に、収集した文化財や収蔵資料の研究成果を発表する企画展を実施。 対象：一般 時期：10月～1月(秋)、3月～6月(春) 会場：難波田城資料館特別展示室 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：21年 事業予算額：800,000円	日時：10/15～1/9、3/11～6/11 会場：難波田城資料館特別展示室 講演会講師：山田慎也 参加人数：－ 委託先：－ 事業決算額：814,300円	秋は富士見市の市制50周年にちなんだ写真展、春は葬送をテーマに、企画展を開催。来場者に富士見の歴史の一端を知ってもらうことができた。秋の企画展で使用した資料は別の公共施設でも巡回展示を行った。今後も展示という形で収蔵資料を市民に還元し、富士見の歴史を学んでもらう機会を創出する。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	難波田城資料館					取組成果	A	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					3 十分な成果を挙げている					
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供					実施手法			2 手法は概ね適切である		
							継続性・発展性	3 次年度も継続			
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価					
事業名	マイミュージアム事業	市民の作品などを発表する場を設けることで、発表者・見学する市民双方のための生涯学習の場とする。	資料館主催展示がない期間に、市民の作品や学習成果を発表する場として特別展示室を貸与する。 対象：一般 時期：資料館主催企画展のない時期 会場：難波田城資料館特別展示室 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：21年 事業予算額：－	日時：8/2～8/28、8/30～9/25、2/4～2/19 会場：難波田城資料館特別展示室 講師：－ 参加人数：－ 委託先：－ 事業決算額：－ 円	当館市民学芸員が属する「古城の会」の研究発表展示、市民が公園内や市内の景色を水彩画で表した「難波田城公園 その魅力」、 「南畑幼稚園園児作品展」にて会場を貸出。多く来館者が楽しむ姿が見てとれた。今後も、市民の作品などの発表の場を設けていく。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性			
担当課	難波田城資料館					取組成果	B	3 次年度も継続			
基本目標	施策の柱					2 一定の成果を挙げている					
基本目標①	市民との協働による事業の充実					実施手法			2 手法は概ね適切である		
基本目標③	学習成果の発表機会の充実						継続性・発展性	3 次年度も継続			
基本目標③	学習成果の活用機会の創出										
本事業と関連のある他計画											
第2次富士見市教育振興基本計画											

計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	市民学芸員育成事業（再掲）	生涯学習社会にふさわしい市民に開かれた資料館事業を市民と共に創出する。	研修を行い、市民学芸員の育成を行う。市民学芸員は史跡公園のガイドや体験イベントの支援を行う。 対象：市民学芸員 時期：通年 会場：難波田城公園 参加費：－ 募集人数：－ 継続年数：21年 事業予算額：198,000円	日時：通年 会場：水子貝塚公園 内容：展示館ガイド、各事業への協力 参加人数：34人 事業決算額：－円（実施中のため未定）	土日祝の園内ガイド、学校見学の対応、各事業への協力など活動日数がコロナ禍前に戻りつつある。資料館事業の遂行には欠かせない存在であり、来年度に第9期の募集になるため、活動を継続して行うための工夫が必要である。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	難波田城資料館					A	3 次年度も継続		
基本目標									
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供								
基本目標③	学習成果の活用機会の創出								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題含む）	担当課評価			
事業名	資料館友の会協働事業（再掲）	体験教室や先人たちの技術を学び、市民の生涯学習の推進と向上を図る。	資料館友の会と協働で竹かご教室、拓本教室、はたおり教室、糸つむぎ体験、ふるさと探訪などを開催。 対象：一般 時期：－ 会場：難波田城公園 参加費：無料～1,000円 募集人数：8人～30人 継続年数：21年 事業予算額：30,000円	日時：通年 会場：水子貝塚公園 内容：土器づくり、体験教室への協力 参加人数：10人 事業決算額：0円	当館主催の体験事業における技術的な指導などを依頼しており、事業開催に欠かせない存在になっている。また会員が自主的に活動を行っており、その成果を資料館の展示等を通じて公表している。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	難波田城資料館					A	3 次年度も継続		
基本目標									
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供								
基本目標②	地域の人材を活かした学習機会の提供								
基本目標③	学習成果の活用機会の創出								
基本目標③	市民間交流の促進								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									
計画の位置付け		事業目標	事業概要	事業実施結果	担当課評価コメント（課題及び次年度の方向性等を含む）	担当課評価			
事業名	田んぼ体験隊	昔ながらの手法で米作りを体験することで、先人たちの知恵を学ぶと共に、食物の大切さを学ぶ。	毎年5月から12月にかけて難波田城公園内の田んぼで実施。種まきから田植え、稲刈り、脱穀、餅つきまで、昔ながらの手法で米作りを体験してもらう。主な参加者は親子。 対象：一般 時期：5月～12月 会場：難波田城公園 参加費：1,000円 募集人数：15組（約50人） 継続年数：20年 事業予算額：10,000円	日時：5月～12月 会場：難波田城公園 講師：近隣農家 参加人数：15組(最大45人) 委託先：－ 事業決算額：10,000円	参加者が昔ながらの米作りを体験し、食のありがたさを考える様子が見てとれた。昨年度は密にならないよう2部制で実施していたところを全員一斉参加に戻し、その場での試食を行うなど、徐々にコロナ禍前の事業内容に戻っていった。	個別事項評価	令和4年度の評価	継続性・発展性	
担当課	難波田城資料館					B	3 次年度も継続		
基本目標									
基本目標①	ライフステージに合わせた学習機会の充実								
基本目標①	市民との協働による事業の充実								
基本目標②	地域資源を活かした生涯学習の提供								
本事業と関連のある他計画									
第2次富士見市教育振興基本計画									